

敦賀発電所2号炉  
平成30年調査会社報告書のうち  
申請書に反映した10孔の  
申請書用柱状図の元データ

令和2年10月30日  
日本原子力発電株式会社

余白

# 目次

掘削時期	孔名	頁
平成24年掘削	• H24-B8-21	5
	• H24-B8-22	13
報告書作成用柱状図 (平成26年9月～12月)	• H24-B11-1	21
	• H24-B11-2	27
	• H24-B14-2	33
平成27年掘削	• H27-B-1	39
	• H27-B-2	71
コア観察カード (平成27年8月)	• H27-B-3	107
	• H27-B-4	145
	• H27-D5-1	177

余白

# ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

1

事業・工事名

ボーリング名	B8-21	調査位置				北緯		
発注機関					調査期間			
調査業者名			主任技師			現代場人		
孔口標高	7.28 m	角	180°上	方	北 0°	コ	定	ア
総掘削長	240.00 m	度	下 0°	向	西 270° 東 90° 南 180° 北 0°	機		
			鉛直	水平	0°	種類		
			90°	0°		エンジン	ハンマー 落下用具	
			45.0°				ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分 図	岩種 調	色 調	硬 軟	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率 最大コア長 R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値～深度) 図					原位置試験 (孔内水圧計)	室内試験	掘進 月日	掘進 速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コア タイプ / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)							
														(N)	(m)	(N)	(m)	(N)												(m)						
		5.16		埋土						0.00～3.00m: 埋土 (bk層) 0.00～0.12m: 粗粒砂 植物根が混る。 0.12～1.42m: 礫混り砂 最大10mmの礫をまねに含む。 1.42～1.93m: 有機物シルト混り砂 細粒～粗粒砂からなり全体に有機物・シルトが混る。全体に不均質。 1.92～2.38m: 礫混り砂 2.38～3.00m: シルト質砂			▽ 2.30 ▽ 2.10 ▽ 7.21	7/5		試験	0		0	0	試験															
		4.56		砂礫	黄灰					3.00～5.30m: 砂礫 (A層) 3.00～3.84m: 砂礫 径5～30cmの礫垂直角～垂直礫を60～70%含む。基質は細礫の混る中～粗粒砂。下端の5.00～5.30mはシルトを多く含む中粒砂の礫混りシルト質砂で炭化物が散在。 3.48～5.00m: スライム			▽ 4.70 ▽ 7.18	7/6																						
		3.74		スライム	灰白																															
		3.53		砂礫	灰					5.30～10.30m: 礫質砂主体 (Ca11層) 5.30～6.92m: 花崗斑岩の礫質岩塊 下端の6.45～6.92mは礫質花崗斑岩と粗粒砂の基質からなる砂礫。			▽ 5.80 ▽ 7.24	10/5																						
		2.39		礫	黄灰					6.92～10.30m: 礫混り砂 シルトを混入する不均質な砂が主で、径2～4mm石英細礫を混入。			▽ 7.30 ▽ 7.25	7/18																						
		-0.00		礫混り砂	灰白																															
		10.30		砂礫	黄灰																															
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																
				明黄褐																																

標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記号	岩級	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	孔内水位 測定月日	標準貫入 ( 試験 ) 図					室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																
													N 値 ~ 深度															原位置試験 ( 孔内水深基準 )																															
11.47	26.51		砂礫	灰白	硬	割れ目不明	変質不明	記号不明	26.51~37.67m: 砂礫		0	7/24	0	10	20	30	40	50	170	105 / ケーシング					0.2	泥水 3	3																																
																																	135																										
19.36	37.67		花崗斑岩	灰白	硬	割れ目不明	変質不明	記号不明	37.67~73.60m: 花崗斑岩 (Gp)	斑晶が少ない石英主体のアブライト質花崗斑岩。黒雲母の含有率は5%程度。	0	7/26	0	10	20	30	40	50	110	ダブルコアチューブ / メタルコアファン																																							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の形状	風化質	記事	コア採取率 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位/測定月日	試験 (標準貫入) 図			原位置試験 (孔内水圧計)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)/孔壁保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
													(N値)	(深度)	(時間)												
70	44.76	73.60	花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	cg	γ	2	62.33~63.77m: 傾斜30°と60°の割れ目が発達し交差部は砂状~角礫状。	CL'			7/29	120		0.3	泥水9	4								
					Dg	IVg	cg	γ	2																		
					Bg	IVg	cg	γ	2																		
					Dg	IVg	cg	γ	2																		
					Bg	IVg	cg	γ	2																		
				灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	65.04~65.89m: 傾斜10~20°の割れ目または傾斜60~80°の割れ目が集中する部分は角礫状。	CL'															
				Cg		IVg	cg	γ	2																		
				Dg		IVg	cg	γ	2																		
				Bg		IVg	cg	γ	2																		
				灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	66.34~67.37m: 傾斜10~20°と60°の割れ目が1~10cm間隔で発達。一部で黄褐色~褐色シルトを挟む。	CM'															
				Cg		IVg	cg	γ	2																		
			Dg	IVg		cg	γ	2																			
			Bg	IVg		cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	68.03~68.28m: 割れ目が0.5~1.5cm間隔で網目状に発達。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	70.46~70.53m: 角礫状を呈する。上端80°, 下端50°. 固結する。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	71.28~71.75m: 硬質, ハンマー打撃で金属音。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	72.43~72.94m: シルト混り砂礫状を呈する。	D'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	73.60~160.40m: アブライト (Ap) 上端, 下端とも花崗斑岩との境界は漸移的。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			黄褐	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	75.56~76.01m: 径5~50mmの垂角礫を含む砂礫状コア。	D'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	76.01~77.36m: 傾斜50~60°の割れ目が5~10cm間隔で発達。一部で土砂化~細粒化。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	77.36~77.88m: 傾斜40°と70°の割れ目が5~10cm間隔で交錯。コアは片状で硬質。	D'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	78.30~78.32m: 砂・泥混りシルト状を呈する。傾斜60°, 幅7~13mm, 明黄褐色。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰黄	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	●79.86~80.17m: 破砕帯 ▲79.86m: 砂混りシルト状破砕部 (Hc-2)。	D'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	80.17~80.50m: 微細な割れ目が密集。コアは主に細片状。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	80.50~80.76m: 割れ目が多く、シルト混り砂礫状。傾斜30°, 幅8mm。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	81.03~82.37m: 割れ目間隔が広く、50~100mmの柱状コアが主。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	82.37~83.90m: 傾斜30~50°及び20°以下の割れ目が1~2cm間隔で発達。コアは片状が主。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰白	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	84.92~86.67m: 割れ目が多い。傾斜50°前後の割れ目が発達。一部で割れ目沿いに黄褐色が進み土砂状を呈する。	CL'																
			Cg		IVg	cg	γ	2																			
			Dg		IVg	cg	γ	2																			
			Bg		IVg	cg	γ	2																			
			灰黄	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	●88.67																	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	割れ目の状態	風変質	記事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 ← cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 ( 試験 ) 図		原位置試験 ( 孔内水圧装置 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																							
													( N 値 ~ 深度 )	( 値 )																																	
100			[ 柱状図 ]	アブライト	明褐灰	IVg	cg	2	100.18~100.67m: 上下位に比べて優白質となり、割れ目沿いに細片化~細粒化。 101.81~102.90m: 上位に比べて微細な割れ目が発達。割れ目沿いに細片~細粒化。 104.00~107.68m: 岩質はやや硬質化。 107.68~109.10m: 割れ目間隔は1~15cmで、傾斜50°のものが発達し斜交。 109.41~109.96m: 割れ目頻度は小。割れ目沿いは軽微な細片化。 110.64~112.09m: 割れ目間隔は3~6cm、割れ目沿い及び岩芯が斑状に酸化され褐色化。 112.09~112.68m: 微細な縦方向の割れ目が分布するが、岩片は硬質。 113.00~113.12m: 割れ目沿いに褐色化。傾斜45°、幅30mm。 113.12~113.43m: 微細な割れ目に網状の白色粘土脈が分布。 113.53~114.84m: 縦方向の微細な割れ目が発達。下端境界は明瞭で傾斜60°。 115.85~116.79m: 割れ目沿いに褐色化。上部はマンガンに富む。 116.79~117.27m: 微細な割れ目がみられるが岩片自体は硬い。 117.27~117.59m: 軟質化し微細な割れ目と浅黄色の変質鉱物が分布。 118.11~118.22m: 脱色し不規則に灰白色粘土を伴う。 119.05~119.88m: 傾斜50~60°の割れ目が卓越し斜交。すべての割れ目沿いに褐色化し一部で細片化。 120.38~123.73m: 傾斜30~60°とこれに交差する低角度の割れ目が発達。コアは岩片~角礫状。 121.60m: 灰白色粘土が挟在。傾斜60°、幅10mm。 122.70~122.77m: 割れ目沿いに幅4~5mmの褐色粘土が挟在。その周縁で幅40mm程度が風化で褐色化。 124.10~124.50m: 岩芯には斑状。割れ目沿いは帯状の酸化褐色部が分布。岩芯の一部に新鮮部が残留。 125.32~125.43m: 傾斜50°割れ目が密集。 125.97~126.05m: 角礫状。上下端に粘土を伴う。上端50°、下端40°。 128.26~128.71m: 傾斜60°割れ目と高角度の割れ目が交差し網目状。わずかに浅黄色の粘土を伴う。 129.03~129.85m: 傾斜45~60°の割れ目が主。硬質 129.85~130.82m: 上位に比べて岩盤が劣化し、傾斜45~60°の割れ目に不規則な割れ目が斜交。 ●131.03~131.14m: 破砕帯。上端62°、下端40°。 ▲131.03~131.08m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hb)。上端62°、下端50°、幅30mm。 ▲131.08~131.14m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。下端40°。 131.28~131.88m: 角礫状。網目状に破砕され固結。 ●131.88~132.82m: 破砕帯 ▲131.88~132.82m: 粘土混り角礫状破砕部(Hb)。上端60°。上端で幅5cmにわたリマンガンが濃集し、せん断面には緑灰白色粘土が分布。下端の132.81~132.82mに56°、厚さ4mmの褐色粘土が分布(Hc-1)。	0 50 100	CL'																																				
110												明褐灰	IVg	cg	3	109.41~109.96m: 割れ目頻度は小。割れ目沿いは軽微な細片化。 110.64~112.09m: 割れ目間隔は3~6cm、割れ目沿い及び岩芯が斑状に酸化され褐色化。 112.09~112.68m: 微細な縦方向の割れ目が分布するが、岩片は硬質。 113.00~113.12m: 割れ目沿いに褐色化。傾斜45°、幅30mm。 113.12~113.43m: 微細な割れ目に網状の白色粘土脈が分布。 113.53~114.84m: 縦方向の微細な割れ目が発達。下端境界は明瞭で傾斜60°。 115.85~116.79m: 割れ目沿いに褐色化。上部はマンガンに富む。 116.79~117.27m: 微細な割れ目がみられるが岩片自体は硬い。 117.27~117.59m: 軟質化し微細な割れ目と浅黄色の変質鉱物が分布。 118.11~118.22m: 脱色し不規則に灰白色粘土を伴う。 119.05~119.88m: 傾斜50~60°の割れ目が卓越し斜交。すべての割れ目沿いに褐色化し一部で細片化。 120.38~123.73m: 傾斜30~60°とこれに交差する低角度の割れ目が発達。コアは岩片~角礫状。 121.60m: 灰白色粘土が挟在。傾斜60°、幅10mm。 122.70~122.77m: 割れ目沿いに幅4~5mmの褐色粘土が挟在。その周縁で幅40mm程度が風化で褐色化。 124.10~124.50m: 岩芯には斑状。割れ目沿いは帯状の酸化褐色部が分布。岩芯の一部に新鮮部が残留。 125.32~125.43m: 傾斜50°割れ目が密集。 125.97~126.05m: 角礫状。上下端に粘土を伴う。上端50°、下端40°。 128.26~128.71m: 傾斜60°割れ目と高角度の割れ目が交差し網目状。わずかに浅黄色の粘土を伴う。 129.03~129.85m: 傾斜45~60°の割れ目が主。硬質 129.85~130.82m: 上位に比べて岩盤が劣化し、傾斜45~60°の割れ目に不規則な割れ目が斜交。 ●131.03~131.14m: 破砕帯。上端62°、下端40°。 ▲131.03~131.08m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hb)。上端62°、下端50°、幅30mm。 ▲131.08~131.14m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。下端40°。 131.28~131.88m: 角礫状。網目状に破砕され固結。 ●131.88~132.82m: 破砕帯 ▲131.88~132.82m: 粘土混り角礫状破砕部(Hb)。上端60°。上端で幅5cmにわたリマンガンが濃集し、せん断面には緑灰白色粘土が分布。下端の132.81~132.82mに56°、厚さ4mmの褐色粘土が分布(Hc-1)。	0 50 100	CL'																													
120																	明褐灰	IVg	cg	3	109.41~109.96m: 割れ目頻度は小。割れ目沿いは軽微な細片化。 110.64~112.09m: 割れ目間隔は3~6cm、割れ目沿い及び岩芯が斑状に酸化され褐色化。 112.09~112.68m: 微細な縦方向の割れ目が分布するが、岩片は硬質。 113.00~113.12m: 割れ目沿いに褐色化。傾斜45°、幅30mm。 113.12~113.43m: 微細な割れ目に網状の白色粘土脈が分布。 113.53~114.84m: 縦方向の微細な割れ目が発達。下端境界は明瞭で傾斜60°。 115.85~116.79m: 割れ目沿いに褐色化。上部はマンガンに富む。 116.79~117.27m: 微細な割れ目がみられるが岩片自体は硬い。 117.27~117.59m: 軟質化し微細な割れ目と浅黄色の変質鉱物が分布。 118.11~118.22m: 脱色し不規則に灰白色粘土を伴う。 119.05~119.88m: 傾斜50~60°の割れ目が卓越し斜交。すべての割れ目沿いに褐色化し一部で細片化。 120.38~123.73m: 傾斜30~60°とこれに交差する低角度の割れ目が発達。コアは岩片~角礫状。 121.60m: 灰白色粘土が挟在。傾斜60°、幅10mm。 122.70~122.77m: 割れ目沿いに幅4~5mmの褐色粘土が挟在。その周縁で幅40mm程度が風化で褐色化。 124.10~124.50m: 岩芯には斑状。割れ目沿いは帯状の酸化褐色部が分布。岩芯の一部に新鮮部が残留。 125.32~125.43m: 傾斜50°割れ目が密集。 125.97~126.05m: 角礫状。上下端に粘土を伴う。上端50°、下端40°。 128.26~128.71m: 傾斜60°割れ目と高角度の割れ目が交差し網目状。わずかに浅黄色の粘土を伴う。 129.03~129.85m: 傾斜45~60°の割れ目が主。硬質 129.85~130.82m: 上位に比べて岩盤が劣化し、傾斜45~60°の割れ目に不規則な割れ目が斜交。 ●131.03~131.14m: 破砕帯。上端62°、下端40°。 ▲131.03~131.08m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hb)。上端62°、下端50°、幅30mm。 ▲131.08~131.14m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。下端40°。 131.28~131.88m: 角礫状。網目状に破砕され固結。 ●131.88~132.82m: 破砕帯 ▲131.88~132.82m: 粘土混り角礫状破砕部(Hb)。上端60°。上端で幅5cmにわたリマンガンが濃集し、せん断面には緑灰白色粘土が分布。下端の132.81~132.82mに56°、厚さ4mmの褐色粘土が分布(Hc-1)。	0 50 100	CL'																								
130																						明褐灰	IVg	cg	3	109.41~109.96m: 割れ目頻度は小。割れ目沿いは軽微な細片化。 110.64~112.09m: 割れ目間隔は3~6cm、割れ目沿い及び岩芯が斑状に酸化され褐色化。 112.09~112.68m: 微細な縦方向の割れ目が分布するが、岩片は硬質。 113.00~113.12m: 割れ目沿いに褐色化。傾斜45°、幅30mm。 113.12~113.43m: 微細な割れ目に網状の白色粘土脈が分布。 113.53~114.84m: 縦方向の微細な割れ目が発達。下端境界は明瞭で傾斜60°。 115.85~116.79m: 割れ目沿いに褐色化。上部はマンガンに富む。 116.79~117.27m: 微細な割れ目がみられるが岩片自体は硬い。 117.27~117.59m: 軟質化し微細な割れ目と浅黄色の変質鉱物が分布。 118.11~118.22m: 脱色し不規則に灰白色粘土を伴う。 119.05~119.88m: 傾斜50~60°の割れ目が卓越し斜交。すべての割れ目沿いに褐色化し一部で細片化。 120.38~123.73m: 傾斜30~60°とこれに交差する低角度の割れ目が発達。コアは岩片~角礫状。 121.60m: 灰白色粘土が挟在。傾斜60°、幅10mm。 122.70~122.77m: 割れ目沿いに幅4~5mmの褐色粘土が挟在。その周縁で幅40mm程度が風化で褐色化。 124.10~124.50m: 岩芯には斑状。割れ目沿いは帯状の酸化褐色部が分布。岩芯の一部に新鮮部が残留。 125.32~125.43m: 傾斜50°割れ目が密集。 125.97~126.05m: 角礫状。上下端に粘土を伴う。上端50°、下端40°。 128.26~128.71m: 傾斜60°割れ目と高角度の割れ目が交差し網目状。わずかに浅黄色の粘土を伴う。 129.03~129.85m: 傾斜45~60°の割れ目が主。硬質 129.85~130.82m: 上位に比べて岩盤が劣化し、傾斜45~60°の割れ目に不規則な割れ目が斜交。 ●131.03~131.14m: 破砕帯。上端62°、下端40°。 ▲131.03~131.08m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hb)。上端62°、下端50°、幅30mm。 ▲131.08~131.14m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。下端40°。 131.28~131.88m: 角礫状。網目状に破砕され固結。 ●131.88~132.82m: 破砕帯 ▲131.88~132.82m: 粘土混り角礫状破砕部(Hb)。上端60°。上端で幅5cmにわたリマンガンが濃集し、せん断面には緑灰白色粘土が分布。下端の132.81~132.82mに56°、厚さ4mmの褐色粘土が分布(Hc-1)。	0 50 100	CL'																			





標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	変質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	標準貫入 ( ) 試験 ( N値 ~ 深度 ) 図		室内試験 ( 孔内水圧基準 )	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)			
												( N ) 値	( 深度 )													
180				黄灰	Cg	IVg		2	170.51~170.66m: 割れ目及びその周辺が暗青灰色に変質。	4 [0]		0			8/24	135										
				褐灰	Dg			1			4 [0]		10				120									
				明褐灰		Vg		2	171.63~176.24m: 傾斜45~60°の割れ目が発達。割れ目交差部ではコアは細片化。岩片は比較的新鮮で硬質。 174.21m: 傾斜50°の割れ目に暗緑灰色を呈する変質鉱物が付着。下盤側にも斑状で暗緑灰色鉱物が形成。 176.24~177.20m: 上下位に比べて割れ目は少ない。		4 [0]		20					100					0.4	泥水12	0	
				灰	Cg		cg		2	177.20~177.66m: 脱色し割れ目はやや不明瞭。		4 [0]		30												
				緑灰	Dg			3	178.30m: 灰白色粘土挟在。傾斜80°, 厚さ4mm。上端側は変質が強い。		9 [0]		40													
				灰	Cg		Vg		2	178.97~179.05m: 変質作用により岩盤が劣化し、下位に比べて軟質。		4 [0]		50												
				灰白	Dg			3	179.05~180.55m: 微細な割れ目が発達。		3 [0]															
				灰		Vg		2	180.55~180.70m: 硬湿り砂状。割れ目は消滅し岩組織不明瞭。固結。		3 [0]															
				緑灰	Dg	VIg	dg	3	181.02~181.89m: 硬湿り砂状。硬質岩片を含むが割れ目は消滅。一部で固結。		4 [0]															
				灰	Cg		Vg		2	183.04~183.56m: 割れ目は少なく新鮮で硬質。		6 [0]														
				灰白	Dg			3	183.56m: 傾斜45°の割れ目に暗緑色の変質鉱物が付着。幅10.5mmの方解石脈に伴う。		9 [0]															
				灰		Vg		2	184.46~185.42m: 微細な割れ目が発達。下端の傾斜80°の割れ目に暗緑色変質鉱物が付着。		12 [12]															
				灰		Vg		2			7 [0]															
				灰		Vg		2			15 [15]															
				灰	Cg	IVg		β			9 [0]															
				褐灰		IVg			2	187.78~189.19m: 傾斜40~50°の割れ目が発達。微細な割れ目を伴う。		9 [0]														
				灰		Vg					4 [0]															
				灰		Vg					8 [0]															
				灰		Vg					3 [0]															
				灰		Vg					4 [0]															
				灰		IVg					4 [0]															
		灰		Vg					7 [0]																	
		灰		Vg					14 [14]																	
		灰		IVg					8 [0]																	
		灰		Vg					3 [0]																	
		灰		IVg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		緑灰		IVg					5 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg					5 [0]																	
		灰		Vg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg					5 [0]																	
		灰		Vg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg					5 [0]																	
		灰		Vg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg					5 [0]																	
		灰		Vg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg					5 [0]																	
		灰		Vg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg					5 [0]																	
		灰		Vg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg					5 [0]																	
		灰		Vg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg					5 [0]																	
		灰		Vg					9 [0]																	
		灰		Vg					10 [0]																	
		灰		Vg					12 [12]																	
		灰		IVg					7 [0]																	
		灰		IVg					3 [0]																	
		灰		Vg																						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化	変質	記事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 ← cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 試験		原位置試験 (孔内水圧基準)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
														( N 値 ~ 深度 ) 図	( N 値 )													
					オリブ灰	Vg				206.00~206.36m: 縦方向の割れ目に方解石脈と暗緑灰色の変質鉱物脈が混在。	8 [0]			0														
					緑灰	Cg			2	207.92~208.42m: 割れ目が多く細片化, 細粒化。	11 [11]							9/3	125						0.6	泥水12	11	
					灰	Vg				209.42~210.83m: わずかに脱色。不規則, 不連続の微細な割れ目が分布するが, 大きい劣化はない。	10 [10]																	
					オリブ灰	Dg				210.64~210.65m: 灰色砂混りシルトと石英脈が挟在。上端57', 下端52', 幅8~10mm。	8 [8]																	
					オリブ灰	IVg				210.93~211.03m: 幅4cm程度で変質を受け, 暗緑灰色を呈す。	11 [11]																	
					灰	Vg				212.14~215.73m: 傾斜25~70°の割れ目が発達。一部で割れ目沿いに細片化。	8 [8]																	
					オリブ灰	IVg					10 [10]																	
					緑灰	IVg			cg β	2	13 [13]																	
					灰	Vg				216.56~217.00m: 微細な割れ目が発達。上下端に幅0.5~4mmで暗緑灰色の変質脈が挟在。	4 [4]																	
					灰	Dg					6 [6]																	
					灰	Vg					3 [3]																	
					灰	IVg				218.24m: 暗緑灰色の変質脈。幅1.5mm, 傾斜45°。	6 [6]																	
					オリブ灰	IVg					15 [15]																	
					灰	Vg				219.27~219.63m: 縦方向の割れ目と低角度の微細な割れ目が斜交。一部で細片化, 細粒化。	9 [9]																	
					オリブ灰	IVg					4 [4]																	
					暗緑灰	Vg				221.11~221.19m: 網目状に砂が分布。	4 [4]																	
					暗緑灰	Vg				221.19~222.71m: 上部は傾斜30~45°, 下部は60~75°の割れ目と微細な割れ目が発達。割れ目沿いに細片~細粒化。部分的に脱色し軟質。	4 [4]																	
					暗緑灰	IVg					8 [8]																	
					暗緑灰	IVg				223.40~224.85m: ハンマー打診で金属音。	12 [12]																	
					暗緑灰	IVg					24 [24]																	
					暗緑灰	Vg					15 [15]																	
					暗緑灰	IVg					9 [9]																	
					暗緑灰	IVg				228.60~229.05m: 傾斜65°の割れ目が1~3cm間隔で平行に分布。	10 [10]																	
					暗緑灰	IVg				228.86m: 傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が混出。	9 [9]																	
					暗緑灰	IVg				231.50~231.67m: 上端傾斜50°, 下端30°の割れ目に沿って径1~2cmに細片化。	9 [9]																	
					暗緑灰	IVg				232.45m, 232.50m, 232.70m: 傾斜5~10°の低角度割れ目が65°割れ目に切られる。	6 [6]																	
					暗緑灰	IVg				233.86~234.23m: 微細な割れ目が1~3cm間隔で分布, 細片化。	9 [9]																	
					暗緑灰	IVg				●234.23~234.38m: 破砕帯。上下端の傾斜65°。	10 [10]																	
					暗緑灰	IVg				▲234.23~234.37m: 角礫状破砕部(H)。傾斜65°の割れ目と径1cm前後の角礫主体。	9 [9]																	
					暗緑灰	IVg				▲234.37~234.38m: 角礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。75° 幅10mm, 暗緑色の軟質粘土に径2~4mmの花崗斑岩細礫や石英粒が混る。境界はシャープ。	9 [9]																	
					暗緑灰	IVg				236.90~239.00m: 40~85°割れ目と微細な割れ目が1~3cm間隔で発達。	7 [7]																	
					暗緑灰	IVg				239.00~240.00m: 割れ目はやや減少。傾斜65~70°と5~15°の割れ目及び微細な割れ目が1~3cm間隔で分布。	9 [9]																	
					暗緑灰	IVg					7 [7]																	
					暗緑灰	IVg					9 [9]																	

ダブルコアチューブ / ダイアモンドビット

86 / 泥水

0.1

余白

# ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

1

事業・工事名

ボーリング名	B8-22		調査位置			北緯		
発注機関			調査期間			東経		
調査業者名			主任技師			ボーリング責任者		
現代場人			コ鑑定者			ハンマー落下用具		
使用機種			エンジン			ポンプ		
孔口標高	3.22 m	角	180°上 90° 45.0°		方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東 323.0°		
総掘削長	240.00 m	度	鉛直 180°		水平 0°	0.0°		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩色	硬軟	割れ目の状態	風変質	記	コア採取率 最大コア長 R Q D L [%]	岩級区分	標準貫入 (N値～深度) 図		室内試験 掘進速度 (cm/時)	掘進月日	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
											(N値)	(深度)								
	-0.29	4.97	埋土	オリブ黒 灰 浅黄				0.00～4.97: 埋土 (bk層) 0.00～0.40m: 砕石 径2～5mm (最大径30mm)。黒色。 0.40～0.67m: シルト混り砂礫 径2～30mmの花崗斑岩礫及び黒色砕石を10～20%程度含む。基質はシルト質砂。 0.67～2.00m: 径2mm以下の砕石 (中粒砂～細礫) を主とする。 2.00～4.55m: 径2～5mm (最大35mm) の砕石主体。わずかに径2～30mmの花崗斑岩垂角礫混入。 4.55～4.97m: 礫混り砂 細～粗粒砂を主体とし、径1～60mmの花崗斑岩垂角～垂円礫を含む。全体に植物片を混入。				7/21	605		0.0	0			試験	
	-0.43	5.16	有機質シルト	黒褐				4.97～9.45m: 有機質シルト及び礫質砂主体 (A層) 4.97～5.16m: シルト質砂 中粒砂を主とし、シルトを混入。 4.97～5.04m: 木片、有機物に富む。 5.16～7.22m: 有機質シルト 腐植物及び木片を多く含む。6.50m以深は中粒砂が混る。 7.22～8.27m: 礫混り砂 中～粗粒砂主体。礫は径5mm以下の石英、長石が主。礫やシルト、有機質分の多寡で細かく土相変化する。 8.27～9.45m: 礫質砂 下端9.36～9.45mは有機質シルト。 8.77mは約30°、9.28mは約40°傾斜。				7/22	730		0.1	泥水15		15		
	-1.89	7.22	礫混り砂	灰白				9.45～18.72m: 砂主体 (Bs層) 9.45～14.95m: 砂 中～粗粒砂主体。 12.88～13.07m: 細粒砂主体。腐植物を多く含む。 14.59m, 14.95m: 傾斜45°の明確な構造が認められる。				7/23	850		3.0	60	0.1	泥水15		5
	-2.63	8.27	礫質砂	灰黄				14.95～17.20m: シルト混り砂 シルトの混る中～粗粒砂が主で不均質。径2～5mmの石英を含む。												
	-3.46	9.45	砂	明黄褐 にふい黄橙				17.20～18.72m: 砂 シルト混り中～粗粒砂が主で、径2～5mmの石英を含む。												
	-7.35	14.95	シルト混り砂	浅黄				18.72～30.25m: 礫混りシルト質砂主体 (Bsm層) 18.72～22.45m: 礫混りシルト質砂 中～粗粒砂が主で不均質。径2～10mm程度の石英、長石及び花崗斑岩垂角礫を数～10%程度含む。 20.20～20.42m: 貝殻片散在。				7/24	465					0.1	泥水15	15
	-8.94	17.20	砂	明黄褐 灰オリブ				22.45～24.09m: 礫・砂質シルト 細粒砂が混入するシルトが主で、中粒砂や径2～5mmの石英角礫が全体に混入。微細な貝殻片が多い。												
	-10.02	18.72	礫混りシルト質砂	浅黄 オリブ灰				24.09～25.51m: 礫混りシルト質砂 シルト質細～中粒砂が主で、径2～5mmの石英がわずかに混入。一部で貝殻片集中。上端28cmは上方細粒化した細粒砂。												
	-12.65	22.45	礫・砂質シルト	暗緑灰				25.51～27.25m: 礫混り砂質シルト シルトを主とし全体に細～中粒砂、径2～5mmの石英、貝殻片が混入し植物片が散在。25.81m以浅では砂質シルト。												
	-13.81	24.09	礫混りシルト質砂																	
	-14.82	25.51	礫混りシルト質砂																	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分図	岩種	色調	硬軟	割れ目形状	風化状態	変質	記号	記号	コア採取率 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	標準貫入 試験		原位置試験 (孔内水位基準)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアダンプ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)			
															( N 値 )	( 深度 )														
		-16.05	27.25	泥混りシルト						27.25~27.94m: シルト質砂 細粒砂が主で、シルト及び中粒砂が全体に混入。貝殻を多量に含む。	(100)																			
		-16.54	27.94	シルト質砂						27.94~29.29m: 礫・シルト質砂 植物片が点在。下部は礫・シルト分が少なくなる。	(100)																			
		-17.49	29.29	礫質砂						28.42m付近にのみ貝殻片が混入。	(100)																			
		-18.17	30.25	礫質砂						29.29~30.25m: 礫質砂 中~粗粒砂が主で、径2~5mm程度の石英を30%程度含む。	(100)																			
		-18.73	31.04	有機質砂						30.25~35.58m: 砂質土主体 (Ca11層)	(100)																			
		-19.41	32.00	有機質砂						30.25~31.04m: 有機質砂 細粒砂~中粒砂が主で径2~5mmの石英が混入。下部は径50mmの礫が分布。31.08mに有機物が濃集。	(100)																			
		-20.79	33.95	砂						31.04~32.00m: 礫混り砂 細~中粒砂が主で径2~4mmの細礫が混入。下部は礫質で径50mmの垂円礫を含む。	(100)																			
		-21.94	35.58	砂						31.08m付近: 有機物が混入。	(100)																			
		-27.06	42.82	砂礫						32.00~33.95m: 砂 細~中粒砂が主で部分的にシルト、粗粒砂が混入。	(100)																			
		-29.90	46.84	砂礫						32.05~32.27m: 有機物が混入する	(100)																			
		-30.63	47.87	砂礫						33.95~35.58mm: 礫質砂 細~粗粒砂が主で径2~10mmの垂角礫を含む。礫率20~30%。	(100)																			
		-31.54	49.16	砂礫						33.95~34.16m: 礫が多い。	(100)																			
		-32.99	51.21	砂礫						34.16~34.35m: 細粒砂主体。	(100)																			
		-34.49	53.33	砂礫						35.58~46.84m: 砂礫主体 (Csg1層)	(100)																			
		-35.37	54.57	砂礫						35.58~42.82m: 砂礫 35.58~37.45m: 礫は径5~100mm (最大200mm)の垂角礫が主で基質は有機物・シルト混りの不均質な砂からなる。礫率50~70%。	(100)																			
		-35.83	55.22	砂礫						37.45~39.66m: 径2~30mm (最大50mm)の垂角~垂円礫が主。基質は細~粗粒砂からなり、全体的に酸化汚染を受ける。	(100)																			
		-39.16	59.93	砂礫						39.66~42.82m: 径2~30mm (最大180mm)の垂角~垂円礫が主。基質は細~粗粒砂からなり不均質。全体的に酸化鉄汚染を受ける。礫種は花崗斑岩が主。径100mmを超える礫は硬質が多い。	(100)																			
		-40.02	61.15	砂礫						40.55~40.70m: 粗粒砂~礫混り粗粒砂。黒色の炭化物が混入。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						41.42~41.52m: 有機物混入。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						42.82~46.84m: 礫質砂 細~粗粒砂からなる不均質な砂で、径5~40mm (最大150mm)の垂角礫が混入。礫率20~30%、最大約5%。細礫は石英粒子主体。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						44.08~45.14m: 礫率数%で上下より礫量が減少した中粒砂が主の礫混り砂。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						46.72~46.84m: 均質な細粒砂。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						46.84~51.21m: 砂及び礫質砂 (Ca12層)	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						46.84~47.87m: 木片 部分的にシルト・砂・礫が混入。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						47.87~49.16m: 礫質砂 細~粗粒砂からなる不均質な砂で、全体に径2~10mmの角~垂角礫が10~20%混入。径2~5mmの石英が細礫として多く分布。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						49.16~51.21m: 砂 49.16~49.55m: 径2~5mmの石英粒が混入中~粗粒砂。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						49.55~51.21m: 細~中粒砂からなり部分的に径2~5mmの細礫が混入。有機物が点在。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						51.21~63.86m: 砂礫主体 (Csg2層)	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						51.21~53.33m: 砂礫 礫は径2~30mm (最大径60mm)の垂角~垂円礫で、礫種は花崗斑岩の風化礫が主。基質は細粒砂~粗粒砂。礫率60~70%。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						53.33~54.57m: 礫混り砂 砂は中~粗粒砂が主。礫は径5~10mmの垂角礫が主。礫種は石英を主としてカリ長石、花崗斑岩が分布。不均質でやや締りが悪い。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						54.57~55.22m: シルト混り砂 細~中粒砂が主で不均質にシルトが混入。40~45°の葉理が分布。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						55.22~59.93m: 砂礫 55.22~56.22m: 礫は径2~8mmの石英と径5~50mm (最大90mm)の垂角~垂円礫。礫率40~50%程度。基質はシルト混り中~粗粒砂。全体に不均質。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						56.22~59.93m: 礫は径10~40mm (最大90mm)の花崗斑岩角~垂角礫。礫率30~40%程度。礫は風化で褐~黄褐色を帯びるが硬質礫が主。基質は中粒砂が主で細粒砂~細礫を混入し不均質。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。	(100)																			
		-40.02	61.15	粘土・礫混り砂						61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験 ( N値 ~ 深度 ) 図		原位置試験 ( 孔内水圧基準 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)							
													N	値																		
-41.15	62.75	75		粘土・シルト混り砂	にぶい黄橙				62.75~63.17m: 砂礫礫は径10~30mmの花崗斑岩風化礫が主。礫率20~30%。基質は粘土混り中粒砂。					0	100																	
-41.45	63.17	86		シルト混り砂	明黄橙				63.17~63.86m: シルト混り砂。細~中粒砂が主でシルトが混入。																							
-41.94	63.86			灰白					63.86~188.09m: 花崗斑岩 (Sp) 63.86~63.90m: 強風化・変質部である。 岩芯まで酸化汚染が進み、土砂状を呈する。 63.90~64.02m: 変質が進み、岩芯まで劣化。 64.02~71.40m: 割れ目間隔1~5cm、傾斜70°の高角度平行割れ目と、割れ目間隔1~4cm、傾斜20~30°の低角度平行割れ目が交錯。概ね前者が卓越。割れ目に沿って黄褐色汚染及び斑状汚染が認められる。 65.62~65.89m: 割れ目に沿って細粒化が進み軟質。																							
				明黄橙					70.00~70.45m: 傾斜45~60°の割れ目に沿って熱水変質がみられる。 70.45~75.38m: 割れ目間隔は1~5cmで、微細な割れ目が分布。																							
				明黄橙					74.16m: 傾斜65°の割れ目に沿って細粒化。割れ目は酸化汚染により褐色化。一部でマンガンが付着。																							
				明黄橙					75.38~75.40m: 固結した粘土混り角礫状。上端60°、下端75°程度。幅20~25mm。																							
				明黄橙					76.87~79.37m: 高角度の割れ目が発達。低角度の割れ目との交差部分で岩片状~角礫状化。																							
				明黄橙					79.92~81.66m: 上下位に比べて割れ目は少なく岩自体も硬質。割れ目間隔は0.5~5cmで、岩片状~短柱状コアが主。																							
				明黄橙					81.37m: 傾斜70°の割れ目周辺に幅15mmの淡緑灰色鉱物が晶出。幅3mm程度の褐色のシルト質粘土を伴う。																							
				明黄橙					82.76~84.04m: 傾斜60°程度の割れ目と、これに交錯する微細な割れ目が発達し一部礫状化。全体に風化・変質も進みコアは軟質。幅3~9mmの石英脈が傾斜約70°で連続。																							
				明黄橙					84.92~86.05m: 岩芯は概ね新鮮であるが、割れ目は褐色化。																							
				明黄橙					86.05~86.22m: 上下位に比べて軟化。																							
				明黄橙					86.82~89.48m: 岩芯は新鮮で硬質。 87.61m: 傾斜70°の割れ目周縁20mmにわたり淡青灰色の鉱物が晶出。割れ目には褐色の細粒物質が薄く付着。																							
				明黄橙					89.48~90.30m: 岩芯は新鮮。割れ目は褐色化し黒褐色のマンガンが付着。																							
				明黄橙					91.45~91.62m: 変質で暗青灰色化。 91.55m: 褐色粘土を挟在。幅2~3mm。軟質。																							
				明黄橙					93.40~93.90m: 傾斜30~60°の割れ目が斜交し、割れ目沿いに細片~細粒化。																							
				明黄橙					94.87m: 砂混り粘土挟在。傾斜70°程度。幅9mm。灰白色で軟質。																							
				明黄橙					96.20~96.70m: 傾斜10°前後の低角度割れ目が1~3cm間隔で分布。微細な割れ目が多く分布し岩質もやや軟質。																							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 ← cm R Q D └ [ % ]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 ( 試験 ) 図		原位置試験 ( 孔内水圧計 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)	
														( N 値 )	( 深度 )												
100			花崗斑岩	灰黄	Cg	IVg	γ			96.85~100.00m: 硬質。	CL'							75			40.0						
				灰白	Dg		δ			99.70m: 傾斜70° 割れ目に交差する割れ目が発達し、コアは岩片状。								8/7	70			130					
				明褐灰	IIIg		γ			100.00~100.26m: 上下位に比べ軟質。割れ目頻度も多い。									70			150					
				にぶい黄橙						100.86~101.03m: 傾斜70° の割れ目沿いの変質で暗青灰色化。幅7cm程度。灰白粘土を伴う。																	
				灰白	Cg	IVg				102.79~103.46m: 傾斜45° の割れ目沿いの変質で暗青灰色化。割れ目幅は3~4mmで銀白色の鉱物が晶出。																	
				明褐灰	Eg	VIg	dg	ε	4	105.17m: 傾斜70° の割れ目に層状に「か」が分布。幅1cm。																	
				灰黄	Dg	IVg				107.00~108.42m: 割れ目間隔は1~5cmが主で部分的に密集。																	
				にぶい黄橙						108.58~110.94m: 割れ目に沿って風化が進む。																	
				明褐灰	Dg	IVg		γ		109.11m: 砂混り粘土状。傾斜65° 程度。幅5mm。淡黄白色。																	
				にぶい黄橙	Cg	IVg				109.74~109.82m: 傾斜75° の割れ目周縁に、変質で幅4cm程度の暗青灰色鉱物が晶出。																	
				明褐灰	IIIg					110.94~112.70m: 硬質。ハンマーの打撃で金属音。																	
				にぶい黄橙	Cg	IVg				112.70~113.60m: 割れ目が多い。割れ目周辺にマンガンが濃集。																	
				明褐灰	Eg	VIg	dg	ε	4	113.60~113.80m: 割れ目が密集し風化も進む。																	
				にぶい黄橙	Dg	IVg				●114.71~115.13m: 破砕帯 ▲114.71~115.13m: 粘土混り砂礫状破砕部 (Hb)。固結。上下端60° 程度。礫は軟質。																	
				明褐灰	Eg	VIg	dg	ε	4	115.13~115.46m: 角礫状。岩組織は残存し下端境界60° でシャープ。																	
				にぶい黄橙	Cg	IVg		cg		115.61m, 115.73m: 割れ目沿いに細片化。傾斜60°, 幅2~5mmで連続。																	
				明褐灰	Dg	IVg				117.27~117.29m: 変質で暗青灰色化。傾斜60° 程度。幅20mm。																	
				にぶい黄橙	Bg	IVg		bg		118.41~118.57m: 変質で暗青灰色化。傾斜60° 程度。幅120mm。中央付近に傾斜60°, 厚さ12mmの灰白色砂混り粘土を挟在。																	
				明褐灰	Cg	IVg		cg		120.88~122.28m: 新鮮・硬質。																	
				にぶい黄橙	Bg	IIIg		bg		122.58~123.19m: 割れ目が発達し、割れ目沿いに細片化。																	
			明褐灰	Dg	IVg				123.19~124.48m: 傾斜60° 割れ目が多い。																		
			にぶい黄橙	Cg	IVg				124.48~125.13m: 一部で角礫状~細粒化。																		
			明褐灰	Eg	VIg	dg	ε	4	125.93~125.96m: 割れ目沿い幅2cmで細片化~細粒化。																		
			にぶい黄橙	Dg	IVg				127.71~129.51m: 割れ目間隔は概ね5~10cmと広い。																		
			明褐灰	Cg	IVg		cg		129.51~129.90m: 割れ目が密集。傾斜70° の割れ目が主。																		
			にぶい黄橙	Bg	IIIg				130.50~130.64m: 低角度の割れ目が密集し、割れ目沿いに細片化~細粒化。																		
			明褐灰	Dg	IVg				131.14~132.03m: 傾斜70° 以上の高角度割れ目と5~10° の低角度割れ目が斜交。割れ目沿いに細片化。																		
			にぶい黄橙	Cg	IVg				133.12~133.17m: 割れ目沿いの岩盤劣化部。傾斜70°, 幅20mm。割れ目沿いに細片化し、岩片は割れ目と同方向に配列。																		



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化質	記事	コア採取率 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (試験) 図					原位置試験 (孔内水圧基準)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)								
													( N 値 ~ 深度 )																							
				花崗斑岩	灰黄褐 IVg				134.07~134.45m: 割れ目が密集し 割れ目沿いに細片化。	0			0	10	20	30	40	50																		
					灰黄褐 IVg				136.50~136.68m: 割れ目が密集。	5																										
					明褐灰 Dg				137.60~137.73m: 割れ目密集し、 幅1mm程度の酸化物が挟在。	14																										
					灰黄褐 IVg				139.00~140.97m: 割れ目間隔は概 ね5~10cm程度と広い。	25																										
					明褐灰 Dg				140.00~140.18m: 未風化で新鮮。	15																										
					明褐灰 Dg				141.46~143.52m: 割れ目が密集し 細片~細粒化。	2																										
					明褐灰 Dg				●143.52~143.76m: 破砕帯 ▲143.52~143.73m: 砂・角礫状破 砕部(H)。岩片は硬質。 ▲143.73~143.76m: 粘土混り砂礫 状破砕部(Hb)。下端60°。灰白色。	4																										
					明褐灰 Dg				143.76~144.32m: 割れ目が多く割 れ目沿いに細片~細粒化。岩自体 は硬質。	8																										
					明褐灰 Dg				145.20~145.22m: 粘土混り砂状。 上下端45°。幅5~20mm。	9																										
					明褐灰 Dg				147.12~148.39m: 新鮮で硬質。	9																										
					明褐灰 Dg				148.39~148.80m: 割れ目は褐色化 し、微細な割れ目に灰白色粘土が 挟在。	15																										
					明褐灰 Dg				149.75~149.79m: 割れ目密集部で 角礫状。上端45°。下端65°。幅10~30 mm。	12																										
					明褐灰 Dg				151.13~152.76m: 割れ目沿いに変 質を受けコアは脆い。一部で細片 化。	12																										
					明褐灰 Dg				152.76~153.13m: 微細な割れ目が 網目状に発達。割れ目沿いに変質 が進む。	12																										
					明褐灰 Dg				152.95~152.96m: シルト質粘土挟 在。傾斜20°。幅10~15mm。黒褐色。	9																										
					明褐灰 Dg				154.25~155.49m: 硬質で微細な割 れ目が少ない。	10																										
					明褐灰 Dg				156.49m: 傾斜60°割れ目に幅2~5m mのマンガが挟在。	10																										
					明褐灰 Dg				157.00~158.16m: 割れ目が密集し 礫状化。	11																										
					明褐灰 Dg				159.55~160.05m: 傾斜45~50°の 割れ目が3~5cm間隔で平行に分布。 割れ目沿いに幅1mm以下のマンガ が付着。	11																										
					明褐灰 Dg				160.05~160.40m: 傾斜60°と10~2 0°の割れ目が密集し細片化。	11																										
					明褐灰 Dg				161.98~162.25m: 傾斜10~30°の 割れ目が1~3cm間隔で平行に分布 し、岩片状をなす。	11																										
					明褐灰 Dg				164.44~164.60m: 傾斜60°と10~2 0°の割れ目が斜交し、岩片化。	11																										
					明褐灰 Dg				●166.37~166.46m: 破砕帯 ▲166.37~166.46m: 粘土混り角礫 状破砕部(H)。上端55°。岩組織不 明瞭。 ▲166.46m: 粘土状破砕部(Hc-1)。 傾斜50°。幅2mm。灰白色。	11																										
					明褐灰 Dg				166.46~166.78m: 上下端に幅1~2 mmのマンガ濃集帯が分布。微細 な割れ目にマンガが細脈をなす。	11																										
					明褐灰 Dg				169.09~170.12m: 傾斜30~50°の 割れ目が0.5~3cm間隔で発達し、一 部割れ目沿いに細片化。	11																										

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化	変質	記号	記事	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験		原位置試験 (孔内水圧基準)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)						
															( N 値 ~ 深度 ) 図	( N 値 )																	
				灰黄褐	IVg						171.00~171.07m: 割れ目密集部。 171.22~173.00m: 傾斜0~60°の割れ目が不規則に分布。角礫状化。	0	CL'						8/26														
				にふい檜	IVg	cg	γ	2				173.37~174.08m: 20°前後の低角度割れ目が主。割れ目沿いに細片化シマンガンが付着。下端付近は変質で暗青灰色化。	10	CL'																			
				にふい檜	IVg							174.21~174.25m: 微細な割れ目が密集。 176.01~176.68m: 割れ目はやや少ない。	20	CL'																			
				灰白にふい檜	VIg	dg	δ	4				●176.68~177.31m: 破碎帯(D-6) 上端60°, 下端35°。 ▲176.68~176.71m: 角礫混り粘土状破碎部(Hc-2)。黒褐色。幅15mm。 ▲176.71~176.81m: 角礫混り砂状破碎部(Hb)。 ▲176.81~177.30m: 砂混り角礫状破碎部(Hj)。 ▲177.30~177.31m: 粘土状破碎部(Hc-1)。幅8~10mm。リ-ア 灰色。	30	D'																			
				赤灰	IIg							177.31~177.52m: 角礫状。固結した砂礫様。一部で粘土分に富む。 178.27~179.77m: 割れ目間隔は2~8cmで硬質。	40	CM'															0.1	泥水 5			
				灰褐	IVg							180.37~180.64m: 変質で長石類が緑色化。	50	CM'																			
				灰黄褐	IVg	cg	γ	3				182.64~182.72m: ベグマタイト脈。傾斜60°, 幅50mm。 182.98~183.86m: 傾斜10~20°と50~90°の微細な割れ目が概ね12cm間隔で分布。 184.03~184.56m: 40~60°の割れ目が発達。同傾斜の微細な割れ目が概ね1~3cm間隔で分布。	60	CL'																			
				にふい檜	Dg	Vg	δ					185.25~186.12m: 割れ目は少なく割れ目沿いに弱く風化するが硬質。	70	CH'																			
				にふい檜	IVg	Vg	γ					186.55~186.63m: 角礫岩様で軟質。 187.60~188.09m: 割れ目が多い。割れ目沿いに細片化。	80	CL'																			
				赤灰	IVg	cg	δ	2				188.09~188.92m: ベグマタイト(Pg) 斑晶は5~10mmの石英、長石とカリ長石を主とする。 188.92~240.00m: 花崗斑岩(Gp) 境界は50°割れ目でベグマタイト側は細片化するが、花崗斑岩は硬質で割れ目が少ない。	90	CL'																			
				にふい檜	IVg	Vg	γ					189.52~192.59m: 割れ目間隔が概ね10cm~30cm以上と良好な岩盤も含む。 192.87~193.10m: 変質で淡黄白色の細粒物質を伴い軟質。	100	CM'																			
				にふい檜	Dg	Vg	δ	3				193.56~194.26m: 割れ目間隔は概ね10cm以上で風化・変質は軽微。	110	CL'																			
				明灰褐	Dg	Vg	cg	2				194.26m: 傾斜55°, 幅5mm。暗緑色の変質粘土脈。軟質。 195.56~197.16m: コアは新鮮で硬質。微細な割れ目はほぼ密着。	120	CL'																			
				灰	IIIg	Vg	γ					196.84m: 幅20mm。変質粘土脈。黄鉄鉱を伴う。 197.16~198.54m: 全体に赤色を帯びる。 198.67~200.10m: 概ね新鮮であるが、割れ目沿いに細片化。	130	CM'																			
				黄灰	IIIg	Vg	β	2				200.51~200.55m: 傾斜60°, 淡緑色の変質粘土脈。脱色し軟質。	140	CL'																			
				灰	Bg	IIIg	bg					200.10~225.94m: 割れ目間隔は10cm以上を多く含む良好な岩盤が広く分布。 202.97m: 傾斜55°の割れ目に砂質シルト状の変質鉱物が挟在し、黄鉄鉱を伴う。幅1mm。暗緑色。	150	CM'																			
				灰	Bg	IIIg	cg					203.78~204.12m: 割れ目が多い。	160	CL'																			
				灰	Bg	IIIg	bg					205.40~206.33m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化。細粒化。	170	CL'																			



余白

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.												1
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

事業・工事名

ボーリング名	B11-1		調査位置									北緯		
発注機関			調査期間									東経		
調査業者名			主任技師			現代場人			コ鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	7.10 m	角			方			地盤勾配			使用機種	ハンマー落下用具		
総掘削長	150.00 m	度			向			鉛直			エンジン	ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分図	岩色	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	岩級区分	標準貫入試験		室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進日	孔径 (mm)	コアラッチ/ビット	給圧 (KN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
												N値	深度												
				灰黄褐					0.00~7.95m: 埋土(bk層)																
				灰黄褐					0.00~1.50m: 細礫を含む不均質な砂からなる。																
				にぶい黄					1.50~3.98m: 礫・シルト混り砂 細~粗粒砂からなる。全体に礫およびシルトが混る。部分的に礫の混入率が20~30%となる。礫は径5~40mm。最大径110mmの花崗斑岩の角礫を主体とする。													0.1	泥水0		
				灰黄					3.98~4.43m: 礫密集部。													0	0		
				明黄褐					4.43~5.51m: 礫混り砂 上下位に比べて礫径・礫率ともに小さい。													0.1	泥水0		
				灰黄					5.51~7.85m: 礫質砂 上位に比べ、礫径、礫率ともに大きくなる。礫は硬質花崗斑岩。													0.1	泥水0		
				灰黄					7.85~7.95m: 礫混り砂 粗粒砂主体。風化で褐色化する。													0	0		
				にぶい黄					7.95~18.28m: 有機質土主体(Bp層)																
				暗灰黄					7.95~8.66m: 礫・砂混り有機質シルト																
				黒褐					8.03m付近は細粒分に富み全体不均質。上端側8cmはシルト質細粒砂。																
				黒					8.66~8.95m: 礫混り砂 粗粒砂が主。有機質分は上位に比べ少ない。																
				灰					8.95~9.65m: スライム																
				有機質土					9.65~10.03m: 有機質土																
				有機質土					10.03~11.37m: 礫混り砂 粗粒砂が主で径2~5mm石英礫を含む。木片や有機質土を含む。上端側の10.03~は10.17mは礫混り有機質粗粒砂。																
				有機質土					11.37~12.20m: 礫混り有機質砂																
				有機質土					11.64m以浅は細粒砂で上下端境界は水平。11.64m以深は粗粒砂が主で幅1~4cmの有機物を帯状に含む。																
				有機質土					12.20~13.60m: 有機質土 粗粒砂や細礫を含み不均質。																
				有機質土					12.65~12.85mに植物繊維を含む。																
				有機質土					13.60~16.53m: 有機質混り砂 砂は細~粗粒砂で不均質。炭化物や未分解木片などを含む。																
				有機質土					また、処々に20mm以下の礫を含む。																
				有機質土					14.51~15.00m: 未分解木片の塊り																
				有機質土					16.48m, 16.51m: 炭化物が一定方向に配列。																
				有機質土					16.53~17.90m: 有機質土 分解の強弱で縮状模様を呈する。																
				有機質土					7.35~17.69mに極細粒砂を挟む。																
				有機質土					17.90~18.05m: 礫混りシルト質砂																
				有機質土					18.05~18.28m: 有機質シルト																
				有機質土					18.28~23.15m: 礫混り砂(Bs層) 細~粗粒砂の不均質な砂で、径2~20mmの細礫が混る。礫は石英が主。わずかに花崗斑岩の垂角礫も分布。上端の18.28~18.67mは礫混り砂で中粒砂が主。																
				有機質土					20.60~20.88m: 酸化汚染を受け、斑状に褐色化。																
				有機質土					22.50~23.15m: 軽微だが酸化汚染を受け、コアは淡褐色を帯びる。																
				有機質土					23.15~25.78m: 礫質砂主体(GaII層)																
				有機質土					23.15~25.00m: 礫質砂 径2~5mmの細礫と24.50m付近の20~50mm礫。基質はシルトを含む細~粗粒砂で不均質。礫率約30%。																
				有機質土					25.00~25.78m: 砂礫 径40~100cmのアブライト、花崗斑岩の垂角~垂円礫で礫率50~60%。基質は細~粗粒砂で不均質。25.45m以深は有機質分を含む。																

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コアラ採取率 ← ( % ) 最大コアラ → cm R Q D └ [ % ]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図				原位置試験 ( 孔内水位基準 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)		
															N	0	10	20												30	40
		13.78	29.53	玉石混り砂礫	灰黄						25.78~38.07m: 玉石混り砂礫主体 (Cs 61層) 25.78~29.53m: 玉石混り砂礫 径10~100cm程度のアブライト、花崗斑岩の垂角~垂円礫を5~60%含む。基質は径2~5mmの細礫を含む不均質な砂。 26.94~28.00m: 上下位に比べて礫率が低く、礫は径10~20mm。最大径40mmの垂角~垂円礫が主。基質は細~粗粒砂。 29.53~30.29m: シルト混り砂 細~中粒砂が主。部分的に径2~5mmの細礫が混る。							7/2	65	115 / ケーシング	10.0	110			0.1	泥水1	1				
		14.32	30.29	玉石混り砂礫	灰黄						30.29~38.07m: 玉石混り砂礫 径10~100 (最大300)mmの垂角~垂円礫が主。基質はシルトの混る不均質な砂。礫率は40~60%程度。 30.90~31.55m: 上下位に比べて礫率小で、石英の細礫が主。							7/3	57		20.0	110			0.1	泥水1					
		17.49	34.78	玉石混り砂礫	明黄褐						32.58~38.07m: 基質の締めり良好で、全体に風化で褐色化が強い。							7/4	90		15.0	120			0.1	泥水1	0				
		18.16	35.72	玉石混り砂礫	明黄褐						34.78~35.72m: スライム							7/5	50		20.0										
		19.82	38.07	玉石混り砂礫	明黄褐						35.72~36.70m: 花崗斑岩礫							7/6	71		40.0										
	40			アブライト	明黄褐						38.07~55.28m: アブライト (Ap) 斑晶はごく少量で微細な石英、長石。 38.07~40.45m: 風化で褐色化。特に38.31~38.88mは岩芯まで風化。 38.30m: 石英脈。傾斜15°、幅5mm。 38.88~40.45m: 1~10cm間隔で割れ目が発達。割れ目に沿って風化が進む。 40.45~47.07m: 割れ目間隔1~10cm間隔でやや割れ目が多いが硬質。 41.34~41.38m: 径約60mmの晶洞中に石英が晶出。 42.34m: 流入粘土挟在。傾斜50°、厚さ2~6mm、褐色。 42.64m: 流入粘土挟在。傾斜45°、厚さ3~4mm。 ●45.58~45.63m: 破砕帯 ▲45.58~45.63m: 砂混り粘土状破砕帯 (Hc-2)。傾斜60°程度、幅20~30mm。半固結。									7/22	60	ダフルコアチューブ/ダイヤモンドビット	10.0	110			0.1	泥水1	1		
				アブライト	明黄褐						44.58~45.63m: 破砕帯 ▲45.58~45.63m: 砂混り粘土状破砕帯 (Hc-2)。傾斜60°程度、幅20~30mm。半固結。										86 / 泥水										
				アブライト	明黄褐						46.77~46.89m: 割れ目密集し、割れ目にマンガンおよび白色鉱物が分布。 47.07~53.13m: 割れ目間隔10~30cmで風化変質の影響が少なく、一部で非常に硬質。 47.89~48.09m: 硬質で岩芯は新鮮。割れ目沿いに風化。 48.58~49.20m: 硬質で割れ目と岩芯は風化で淡褐色化。 49.79~49.84m: 灰白粘土挟在。傾斜70°、幅5~20mm。軟質で指圧で容易に変形。マンガンを伴う。 50.00~50.57m: 硬質。縦方向の割れ目に灰白色粘土が挟在。割れ目沿い幅1~3cmの風化・マンガン濃集帯が分布。 50.90~51.64m: やや軟質。割れ目周辺に幅10mm程度の風化・褐色部が分布。 52.86m: 暗色の包有物。10×60mmの円盤状。傾斜30°程度。								7/23	89							0.1	泥水2	2		
				アブライト	明黄褐						49.79~49.84m: 灰白粘土挟在。傾斜70°、幅5~20mm。軟質で指圧で容易に変形。マンガンを伴う。 50.00~50.57m: 硬質。縦方向の割れ目に灰白色粘土が挟在。割れ目沿い幅1~3cmの風化・マンガン濃集帯が分布。 50.90~51.64m: やや軟質。割れ目周辺に幅10mm程度の風化・褐色部が分布。 52.86m: 暗色の包有物。10×60mmの円盤状。傾斜30°程度。																				
				アブライト	明黄褐						54.14~54.20m: 粘土混り角礫状。上端60°程度、下端は凸凹する。幅60mm。半固結。																				
		31.99	55.28	アブライト	明黄褐						55.28~55.82m: ベグマタイト (Pg) 径5~10mmの石英・長石からなる。																				
		32.37	55.82	アブライト	明黄褐						55.82~57.50m: アブライト (Ap) 56.77~57.50m: 斑晶含有率1~2%。下位のベグマタイトとの境界は概ね傾斜70°程度。																				
		33.56	57.50	アブライト	明黄褐						57.50~58.52m: ベグマタイト (Pg) 径5~10mmの石英・長石からなる。柱状コアを主とし、割れ目が少なく風化変質も軽微で良好なコア。																				
		34.28	58.52	アブライト	明黄褐						58.52~59.43m: アブライト (Ap) 斑晶と石英は微晶質。																				
				アブライト	明黄褐																										







標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	標準貫入 (試験) 図		孔内水位 (m) / 測定月日	N 値	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)					
												( N 値 ~ 深度 )																		
130	81.37	125.11	花崗斑岩	灰黄褐	Bg	IIIg	bg	γ 2	125.11~150.00m: 花崗斑岩 (Gp) 125.11~125.50m: 割れ目、岩芯とも新鮮な硬質岩盤。 126.09~126.29m: 変質で脱色し、長石類は白濁化。微細な割れ目が発達し軟質。 127.22~127.81m: 割れ目沿いにわずかに劣化。岩芯は概ね新鮮。	34 [36]	CM'	0 10 20 30 40 50		8/25	61															
									7 [15]	CL'																				
140	98.97	150.00	花崗斑岩	灰白	Dg	Vg		γ 2	128.18~128.68m: 岩盤が劣化し軟質。 129.26~129.80m: 岩盤の劣化は軽微。変質を受けるが硬質。 130.37~130.47m: 岩盤が劣化し割れ目が密集。割れ目沿いに細片化。 131.04~131.90m: 傾斜40~60°の割れ目が分布。 132.64~132.75m: 割れ目が密集し割れ目沿いに細片化、細粒化。 133.26~133.97m: 変質で岩盤劣化し、割れ目が多い。 133.83m: マンガンが挟在。傾斜65°、厚さ2~10mm。上端に幅1mmの褐色細粒物質脈を伴う。 134.93~135.46m: 割れ目が多い、一部で密集。割れ目及びその周縁は褐色化。岩芯は概ね新鮮。 135.61~136.00m: 傾斜60°程度の割れ目が斜交し、割れ目沿いは細片化。 137.68~139.20m: 傾斜45~60°の割れ目が間隔1~10cmで、微細な割れ目も同傾斜で分布。割れ目沿いは細片化。 139.68~139.80m: 岩盤が劣化し赤色を帯びる。割れ目沿い細粒化。 140.76~140.96m: 傾斜20°と80°の割れ目が斜交し、径10~30mm程度に細片化。 141.35~143.15m: 一部で割れ目沿い風化、褐色化するが、割れ目少なく硬質。 143.67~143.77m: 傾斜40~60°、幅7cmで径10mm以下の岩片と白色~褐色粘土からなる。 144.06~144.45m: 変質で劣化。すべての割れ目に淡赤白色シルトが主の細粒物質が挟在。 145.35~146.11m: 傾斜45°程度の割れ目が多い。割れ目沿いに褐色の細粒物質が付着、挟在。 147.97~148.40m: 傾斜60°割れ目に褐色の細粒物質が挟在。 149.38~149.46m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化しマンガン汚染を受ける。	23 [21]	CM'	0 10 20 30 40 50		8/27	62															
									19 [34]	CL'																				
				灰黄	Bg	IIIg		γ 2		18 [54]	CM'			8/28	63															
				灰黄褐	Bg	IIIg		γ 2		10 [10]	CL'																			
				明褐灰	Cg	IVg		γ 2		26 [34]	CM'																			
				にぶい黄橙	Bg	IIg		γ 2		30 [56]	CL'																			
				にぶい黄	Bg	IIg		γ 2		24 [53]	CM'																			
				褐灰	Cg	IIIg		γ 2		34 [55]	CL'																			
				にぶい黄	Dg	Vg		γ 2		10 [10]	CM'																			
				褐灰	Cg	IIIg		γ 2		14 [14]	CL'																			
				灰褐	Bg	IIIg		γ 2		34 [55]	CM'																			
				褐灰	Cg	IVg		γ 2		15 [15]	CL'																			
				灰褐	Bg	IIIg		γ 2		18 [18]	CM'																			
				褐灰	Cg	IVg		γ 2		26 [26]	CL'																			
				褐灰	Bg	IIIg		γ 2		2 [2]	CM'																			
				褐灰	Cg	IVg		γ 2		2 [2]	CL'																			
				褐灰	Bg	IIIg		γ 2		3 [3]	CM'																			
				褐灰	Cg	IVg		γ 2		15 [15]	CL'																			
				褐灰	Bg	IIIg		γ 2		18 [18]	CM'																			
				褐灰	Cg	IVg		γ 2		26 [26]	CL'																			
				褐灰	Bg	IIIg		γ 2		2 [2]	CM'																			
				褐灰	Cg	IVg		γ 2		2 [2]	CL'																			
				褐灰	Bg	IIIg		γ 2		38 [38]	CM'																			

余白

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

1

事業・工事名

ボーリング名	B11-2		調査位置				北緯			
発注機関				調査期間				東経		
調査業者名			主任技師			現代場人	コ鑑定者			
ボーリング責任者										
孔口標高	3.14 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0.0° 水平 0.0°	使用機種	ハンマー 落下用具	
総掘削長	150.00 m	度	下 0°	向	323.0°			エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩色	硬軟	割れ目の形状	風変質	記	コア採取率 最大コア長 R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値) 試験		原位置試験 (孔内水深範囲)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)			
												(N値) 試験	(N値) 試験														
			埋土	にぶい黄褐色				0.00~5.00m: 埋土 (bk層) 0.00~1.50m: 埋土・シルト混り砂 垂円~垂角礫からなる。基質は細~粗粒砂からなり不均質。 1.50~3.84m: 埋土・シルト混り砂 細砂~粗砂の不均質な砂。全体にシルトと径2~10mmの垂円~垂角礫の細礫を含む。礫種は花崗斑岩、アプライトを含む。																			
	-0.40	5.00		にぶい黄褐色				3.84~4.85m: シルト混り粗粒砂 粗粒砂を主体とする。 4.85~5.00m: 埋土混りシルト質砂 白色人工物混入する。																			
			礫混り砂	灰黄				5.00~17.04m: 砂質土 (Bs層) 5.00~7.59m: 礫混り砂 5.00~5.95m: 細粒~粗粒砂で、全体に径2~5mmの細礫が混る。 5.30~5.35m: 細粒分に富む。 5.95~6.73m: 粗粒砂が主で、全体に暗い色調。僅かに有機物が混る。 6.73~7.59m: 粗粒砂主体。																			
	-2.23	7.59		灰黄				7.59~13.92m: 砂 7.59~8.63m: 粗粒砂主体。 8.36~9.40m: 中粒砂主体。																			
			砂	灰黄				9.40~10.54m: 上位側は細粒砂で、中央~下部側は中~粗粒砂が主。全体的には上方細粒化。																			
				灰				11.83~13.92m: 粗粒砂主体 全体にシルト~細礫の混る不均質な砂。有機物が見かけ90°で分布。																			
	-6.70	13.92		にぶい黄褐色				13.92~14.94m: 礫混り砂 細礫の混る粗粒砂が主で、シルトをわずかに混入。また有機物を含む。 14.32~14.40m: 径4~5mmの細礫を多く混入。 14.94~17.04m: 砂 粗粒砂が主。全体に細粒砂と細礫を含む。																			
	-7.42	14.94		灰																							
			砂	灰黄																							
	-8.91	17.04		灰																							
			礫混り砂					17.04~22.69m: 砂質土 (Bsm層) 17.04~18.73m: 礫混り砂 径2~4mmの石英細礫を含む細~中粒砂。上位と比べて礫率低く約10%。少量の有機物を含む。																			
	-10.10	18.73		砂質土				18.73~19.05m: 礫質砂 細~中粒砂が主で、径2~5mmの細礫10~20%、径1~3mmの炭質物を混入。 19.05~22.69m: 有機物混り砂 細~中粒砂が主で、粗粒砂~細礫をわずかに混入。径2~10mm、最大50mmの炭化物が散在。																			
	-10.33	19.05		砂質土																							
			有機質土混り砂	灰黄																							
	-12.90	22.69						22.20~22.65m: 中~細粒砂主体。 2mm以下の片状もしくは繊維状の有機物が散在。																			
			シルト混り砂/砂質土層					22.69~26.19m: 砂質土主体 (Ca11層) 22.69~25.13m: シルト・礫混り砂、砂礫互層 シルト・礫混り砂は中粒砂が主で、径10~40mmの垂角~垂円礫を含む。単層厚は20~70cm。 砂礫は径10~50mmの垂角~垂円礫を40~60%含む。基質はシルト混り中粒砂。単層厚は20~40cm。地層境界に有機質砂が挟在。																			
	-14.63	25.13		シルト混り砂																							
			有機質土混り砂	灰黄				25.13~26.19m: 礫混りシルト質砂 径2~5mmの石英、及び5~40mmの垂角~垂円礫を数~15%含む。																			



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化質	記 事	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩 級 区 分	標準貫入 ( N 値 ~ 深度 ) 図		孔内水位 (m) / 測定月日	試験		原位置試験 (孔内水圧計)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)				
												( N 値 )	( 値 )		( N 値 )	( 値 )															
70				アプライト	灰白	IIIg	bg	β	62.00m: 傾斜55°の割れ目沿いに酸化。幅15~20mm。	3	CM'																				
					明褐灰	IVg			63.57~63.59m: 傾斜60°の割れ目沿いに岩質劣化し、周囲には幅3~5mmの酸化帯が分布。	6																					
					明褐灰	Dg	Vg		64.52~65.15m: 岩質が軟質化し、割れ目も多い。	4																					
					明褐灰	IVg	Vg		64.78m: 細礫混りシルト質砂挟在。傾斜25°、幅1~8mm。暗褐色。	5	CL'																				
					明褐灰	IVg	Vg	γ	65.88~66.05m: 傾斜40~60°の割れ目沿いに細片化し、コアは軟質化。	9																					
					明褐灰	IVg	Vg		66.05~69.34m: 割れ目密集部が見られ、割れ目間隔5~10cmが主体。66.79~67.09m: 割れ目密集部。コアは岩片状をなす。	15																					
					明赤灰	Bg			69.34~70.05m: 上位に比べて硬質。69.77mまで割れ目沿いの褐色化が目立つ。	9																					
					灰黄	IIIg	cg		70.94~71.21m: 変質劣化し浅黄色化。岩組織はほぼ残留。	11	CM'																				
					にふい橙	Vg		γ	●71.21~71.24: 破砕帯 ▲71.21~71.24m: 礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。上端65°, 下端70°, 幅10mm。淡黄色。	8																					
					明赤褐	IVg		δ	71.24~72.04m: 傾斜20~30°と50~60°の割れ目が交差し劣化。	7																					
					灰白	Dg	Vg	γ	74.80m: 緑灰白色粘土。傾斜50°, 幅1mm。	5	CL'																				
					灰白	Dg	Vg	γ	75.60m: 緑灰白色粘土。傾斜50°, 幅8mm。	3																					
					明赤灰	Eg	VIg	dg	δ	●77.48~78.10: 破砕帯 ▲77.48m: 粘土状破砕部(Hc-1)。75°, 幅3mmの灰白色粘土。 ▲77.48~78.10m: 礫混り砂状破砕部(Hb)。上端75°, 下端70°。78.05mに幅1~2mmの灰白色粘土を伴う。 79.46~79.65m: 粘土混り砂礫状。上端60°, 下端65°。上端に幅10mmの灰白色粘土混り砂を伴う。	2																				
					明赤灰	Cg	IVg	cg	γ	●80.50~83.93m: 破砕帯(D-6) ▲80.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45°, 幅6mmの褐色粘土 ▲80.50~81.93m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。 ▲81.93~83.35m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。上下位との境界は湾曲し不明瞭。 ▲83.35~83.78m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。上端は湾曲。下端は60°。斑状に褐色化。 ▲83.78~83.80m: 粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜60°, 灰白色。 ▲83.80~83.87m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下位との境界は40°。 ▲83.87~83.93m: 角礫状破砕部(Hj)。下端境界は傾斜70°。	3																				
					灰黄	Eg	VIg	dg	δ	●80.50~83.93m: 破砕帯(D-6) ▲80.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45°, 幅6mmの褐色粘土 ▲80.50~81.93m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。 ▲81.93~83.35m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。上下位との境界は湾曲し不明瞭。 ▲83.35~83.78m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。上端は湾曲。下端は60°。斑状に褐色化。 ▲83.78~83.80m: 粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜60°, 灰白色。 ▲83.80~83.87m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下位との境界は40°。 ▲83.87~83.93m: 角礫状破砕部(Hj)。下端境界は傾斜70°。	4																				
					灰白	VIg	dg	δ	●80.50~83.93m: 破砕帯(D-6) ▲80.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45°, 幅6mmの褐色粘土 ▲80.50~81.93m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。 ▲81.93~83.35m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。上下位との境界は湾曲し不明瞭。 ▲83.35~83.78m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。上端は湾曲。下端は60°。斑状に褐色化。 ▲83.78~83.80m: 粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜60°, 灰白色。 ▲83.80~83.87m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下位との境界は40°。 ▲83.87~83.93m: 角礫状破砕部(Hj)。下端境界は傾斜70°。	3																					
					にふい橙	Vg			86.64~86.72m: 微細な割れ目が密集。風化が顕著。	12																					
					明赤褐	IVg	Vg		87.59~89.82m: 割れ目間隔は10~20cmで割れ目は少なく硬質で一部で非常に硬質。風化で褐色化。	8																					
					明赤褐	IIIg			89.00~89.04m: 石英脈。傾斜60°, 幅25mm。灰色。	6																					
					明赤褐	IVg			90.13~98.16m: 非常に硬質。ハンマー打撃で金属音。90.13~93.40m: 割れ目間隔は10~25cmが主。	10																					
					明褐灰	IIIg		γ	91.20m: 石英脈。傾斜60°, 幅20mm。灰色。周囲の一部は風化褐色化。	7																					
					明褐灰	IVg			93.84~97.91m: 割れ目間隔は10~20cmが主で、所々マンガン汚染が広がる。	24																					
					明赤橙	IIIg			97.91~98.16m: コアは硬質であるが、割れ目沿いにマンガン・酸化汚染が広がる。	16																					
					にふい橙	IVg			98.16~98.50m: 間隔3cm未満の網目状に細かく割れ目が発達。角礫状化する。上端傾斜60°程度。	25																					
					にふい橙	IIIg			98.50m: 粘土状。傾斜60°, 幅2~5mm。軟質。黄褐色。 98.50~98.59m: 砂礫状。岩組織は不明瞭で軟質。下端に傾斜50°で幅2~8mmの暗褐色酸化帯を伴う。	19																					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記号	岩級区分	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	標準貫入試験 ( N値 ~ 深度 ) 図		室内試験 ( 孔内水圧計 )	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
													N	値										
100				アブライト	橙	γ	2			98.70~99.14m: 傾斜30°と70°の割れ目が2~5cm間隔で発達。割れ目はやや多いが硬い。	CL'					8/6	102	73/ケーシング	120	0.2	泥水5	4		
			淡赤橙		IVg	γ				99.14~100.88m: 傾斜10~30°の低角割れ目が発達。多くが脆弱で割れ目沿いに細粒・細片化。	CL'						8/14	65		150	0.2	泥水10	10	
			淡黄		IVg	γ				102.07m: 割れ目沿いに暗青灰色の変質鉱物が分布。傾斜50°。幅20mm。白雲母を伴う。	CL'													
			明褐灰		CG	cg				103.45~104.59m: 硬質で、棒状コアを呈する。岩芯に新鮮部が残存するが、斑状の褐色化を伴う。	CM'													
			明褐灰		CG	cg				104.59~105.27m: 微細な密着割れ目が発達し、上位に比べやや軟質。	CM'													
			明褐灰		Bg	bg				105.27~108.05m: 大半の割れ目と割れ目沿いは褐色化。	CM'													
			灰白		Dg					107.25m: 灰白色粘土を挟在する。傾斜60°。幅2mm。	CL'													
			灰白		Dg					107.60m: 灰白色粘土。幅2mm。傾斜65°。下盤側に暗青灰色の変質鉱物帯が分布。幅10mm。	CL'													
			明褐灰		Bg	γ				108.05~110.36m: 傾斜60°割れ目が主で風化で褐色化。	CM'													
			明褐灰		Bg	γ				108.76~109.04m: 割れ目沿いに淡緑青色の鉱物が分布。	CM'													
			褐灰		Bg	γ				110.64~110.93m: 割れ目が多くなり、僅かに細片化部を含むが硬質。	CM'													
			褐灰		Bg	cg				110.93~111.68m: 割れ目が少なく硬質部が主。有色鉱物の周囲が風化で斑点状に褐色化。	CL'													
			明褐灰		Bg	cg				111.68~112.39m: 縦方向の割れ目沿い幅10mm程度が風化・褐色化。マンガンも伴う。	CL'													
			明褐灰		Bg	cg				113.15~113.46m, 114.18~115.43m: 割れ目が多い。割れ目は風化・褐色化。岩芯は斑状に褐色化。	CM'													
			灰白		Dg	3				115.43~116.16m: 固結した角礫状。上端55°, 下端70°。上端に2~3mmの灰白粘土を伴う。116.00m以浅はわずかに粘土を伴い、以深は粘土化が進む。	CL'													
			灰白		Dg	2				117.18~117.89m: 割れ目沿いに細粒・細片化。有色鉱物の周囲はすべて褐色化。	CL'													
			明赤灰		Dg	4				117.89~118.60m: 角礫混り砂質粘土状。上端70°, 下端80°。淡赤白色の軟質な熱水変質脈で、花崗斑岩の岩片が取り込まれる。	D'													
			灰白		Dg	3				119.92~120.11m: 傾斜60°割れ目が主で、割れ目沿いに細粒化、風化・褐色化。	CL'													
			明赤灰		Dg	2				121.53~122.12m: 傾斜60~70°の割れ目が発達し、割れ目沿いに細片~細粒化。	CL'													
			淡赤橙		Dg	3				122.12~122.53m: 粘土混り角礫状。上端に70°, 幅1~4mm。灰白色の砂混り粘土を伴う。	CL'													
			明赤橙	Dg	3				122.52~122.74m: 固結砂礫状。変質し岩組織は概ね消滅。下端122.74mに70°, 幅5mm褐色~灰白色粘土を伴う。	CL'														
			褐灰	Bg	2				122.97~123.70m: 傾斜40~60°の割れ目が3~10cm間隔で分布。	CL'														
			灰赤	Bg	2				123.51~150.00m: 花崗斑岩 (Gp)	CM'														
			明赤橙	Dg	3				123.70~125.39m: 割れ目間隔10~20cmで割れ目少なく硬質。	CL'														
			明赤橙	Dg	3				126.59~127.52m: 一部を除き割れ目が多く軟質化。一部で変質により白色粘土細脈が分布。	CL'														
			明赤橙	Dg	3				127.52~128.68m: 傾斜30~60°の割れ目が5~10cm間隔で分布。	CL'														
			明赤橙	Dg	2				128.68~129.08m: コアは短柱~柱状を呈し、岩芯は新鮮部。	CL'														
			明赤橙	Dg	2				130.18~131.32m: 一部の密集部を除き、割れ目はやや少ない。マンガン汚染を受ける。	CL'														
			明赤橙	Dg	2				131.32~131.85m: 変質による黄褐色鉱物が分布。	CL'														
			明赤橙	Dg	2				132.11m, 132.16m: 石英脈。傾斜40°。幅は各々3mm, 2~8mm。周縁はマンガンが濃集。	CL'														
			明赤橙	Dg	2				133.92~135.65m: 一部を除き割れ目は少ない。傾斜40~60°の割れ目が10~15cm間隔で分布。	CL'														

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化質	記 事	コア採取率 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	( 標準貫入 ) 試験				室内試験 原位置試験 (孔内水圧基準)	掘進 掘進速度 (cm/時)	掘進 掘進月日	給 コアチューブ/ビット	回 回転数 (rpm)	送 送水圧 (MPa)	送 送水量 (L/分)	排 排水量 (L/分)
												( N 値 ~ 深度 ) 図											
-140				花崗斑岩					134.24~134.29m: 変質で橙色を帯び細片化。上端60°、下端55°。 134.51~134.90m: 割れ目が多いものが主。岩片化。 136.01~136.19m: 上下位に比べ軟質で岩片化。 136.90~138.45m: 割れ目は少なく硬質。傾斜30~60°割れ目为主。 138.45~139.20m: 割れ目はやや多い。傾斜40°程度の割れ目が主でマンガノ汚染と褐色の細粒物質を伴う。 139.20~139.70m: 45~65°の割れ目に沿って20~30cmの灰白色変質部を伴う。 140.93~141.40m: 割れ目が多い。傾斜40~50°割れ目が主で細片化~細粒化。 141.40~142.18m: 割れ目が少なく硬質。 143.00~143.10m, 143.88~143.96m: 微細な割れ目が集中。脱色、軟化。 145.73~145.76m: 脱色し細粒化。上下端55°で風化・酸化汚染する。 146.10~146.24m: 割れ目が集中し細片~細粒化。脱色し白濁。 146.24~147.41m: 割れ目は少ない。傾斜10~40°割れ目为主。 147.41~148.85m: 割れ目がやや多く、微細な割れ目も分布し一部で細片化。 148.85~150.00m: 割れ目がやや多い。傾斜30~50°割れ目为主。一部で細片化~細粒化。 149.02, 149.15m: 脱色し白濁。	0 50 100 15 [14] 18 [34] 27 [48] 33 [33] 40 [57] 25 [29] 16 [14] 20 [39] 18 [18] 10 [10] 6 [43] 13 [36] 18 [46] 6 [41] 2 [32] 1 [10]		0 10 20 30 40 50		11/20 11/21 11/22 69	109 100 106 100 160 100 69	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット 30.0	150	0.2 0.4 0.3 0.4	泥水15 泥水15 泥水15 泥水15	10 13 13			
-102.93	150.00			花崗斑岩																			

余白



ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

1

事業・工事名

ボーリング名	B14-2		調査位置				北緯			
発注機関				調査期間				東経		
調査業者名			主任技師			現代場人			ボーリング責任者	
コ鑑定者			使用機種				ハンマー落下用具			
孔口標高	7.06 m	角			地盤勾配			試験機		
総掘削長	150.00 m	度			鉛直	0.0°		エンジン		
ポンプ										

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験 (N値~深度) 図		室内試験 (孔内水平直巻)	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)						
													N	値																
		0.00~3.47	埋土	明褐					0.00~3.47m: 埋土 (bk層) 0~3.47m: 礫・シルト混り砂 細粒~粗粒砂からなる不均質な砂にシルトおよび径5~30mmの角~垂角礫が混入。礫種は花崗斑岩・石英を主とし、安山岩または玄武岩が混入。				0	0																
		3.47~3.93	灰	明褐					3.47~3.93m: コンクリート																					
		3.93~4.28	灰	明褐					3.93~4.28m: 砕石 径20~40mmの粘板岩角礫からなる																					
		4.28~6.66	砂礫	黒褐					4.28~6.66m: シルト混り礫質砂 細~粗粒の不均質な砂にシルトが混る。礫は径2~30mmの石英・花崗斑岩の垂角礫が主。礫率は10~20%程度。 5.13~5.19m: 有機物混り砂を挟む。炭化物物が混入。																					
		6.66~13.86	砂礫	黒褐					6.66~13.86m: 礫質砂及び砂礫 (Bp層) 6.66~8.39m: 礫質砂 細~粗粒砂からなり、全体に径2~5mmの細礫が混入。上端側の6.66~8.82mはシルト混り粗粒砂、下端側の8.08~8.39mは細粒~中粒砂。 8.39~8.83m: 砂混り有機質シルト 8.83~9.54m: 未炭化木片。 8.83~9.54m: 有機物混り砂 9.10~9.26m: シルト分多い。 9.54~11.12m: 砂礫 径2~50mmの花崗斑岩垂角~垂円礫と基質は粘土を混入する粗粒砂。 11.12~12.04m: 礫混り砂 シルトの混る不均質な砂を主とし、径2~5mmの細礫が混入。 11.66~11.79m: スライム。 12.04~12.69m: 有機物混り砂 細~中粒砂が主。有機物は20~30°で傾斜。 12.69~13.09m: 有機物混り砂質シルト シルト~中粒砂からなり、全体に有機物が混入。 13.09~13.86m: シルト混り砂 細粒砂が主。																					
		13.86~16.24	砂礫	暗褐					13.86~16.24m: 砂礫 (Csg1層) 礫は径2~40mm、最大径330mmの垂角~垂円礫を50~70%含む。基質はシルトの混る不均質な砂。																					
		16.24~60.65	灰白	明褐灰	Eg		δ	3	16.24~60.65m: 花崗斑岩 (Gp) 斑晶は径3~8mmの石英・長石が主で、径2~5mmの黒雲母が混入。石基は優白質。 16.24~19.89m: 強風化・変質部である。淡く赤色を帯びた灰白色を呈する。 18.68~19.89m: 変質著しく、割れ目。岩組織はほとんど残留しない。 19.89~20.29m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で網目状に発達。幅0~1mmの粘土を伴う。硬質。 20.29~20.90m: 風化・変質の影響が弱くなる。 21.20~22.39m: 傾斜60°割れ目が多く角礫状化。硬質。 22.34~22.50m: 変質粘土脈。傾斜70°、幅8~10mm。黄灰~黒色。 23.71~23.85m: 傾斜約85°縦方向の割れ目が発達。 24.48~25.88m: 径5~30mm礫状~片状化。 25.88~26.62m: 土砂~礫状。岩片は径5~15mm、最大50mm程度。岩片間にはシルト混り中粒砂様。軟質で指圧で変形。																					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 ← cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位( m ) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図					原位置試験 ( 孔内水位差計 )	室内試験	掘進 掘進速度 ( cm / 時 )	掘進 掘進速度 ( m / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチューブ ピット	給 圧 ( kN / MPa )	回 転 数 ( rpm )	送 水 圧 ( MPa )	送 水 量 ( L / 分 )	排 水 量 ( L / 分 )																																																																																																																										
													0	10	20	30	40												50																																																																																																																									
30				花崗斑岩	褐灰	Eg	Vlg	dg	3	26.62~27.62m: 割れ目が多い。0.5~1.5cm間隔で網状に発達。 28.21~28.50m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で発達し、脆弱。 ●28.50~28.66m: 破砕帯 ▲28.50~28.51m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2) 幅1~1.5mmの黄白色粘土を伴う。 ▲28.51~28.53m: 砂・細礫混りシルト状破砕部(Hb)。上端50'、下端40'。幅23~30mm。 ▲28.53~28.66m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。上端40'、下端は不明瞭。幅120mm。粘土細脈が分布。29.91~30.21m: 傾斜40~55'の割れ目が0.2~2cm間隔で分布。一部で割れ目沿いに岩組織が不明瞭。30.21~32.40m: 割れ目はやや多い。傾斜40~50'割れ目が主。32.40~32.67m: 不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達。片状。 33.01~35.14m: 非常に硬質であるが割れ目がやや多く一部で片状化。 34.77m: 粘土脈。傾斜60'。幅5~12mm。黄褐~灰白色。 35.14~35.74m: 風化・変質で割れ目が不規則で網状に発達。 36.43~37.52m: 傾斜50'割れ目と不規則な割れ目が分布。角礫~片状。 37.52~37.89m: 角礫状~岩片状。	0	D'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																				
																																			10	20	30	40	50																																																																																																															
																																			40				花崗斑岩	明褐灰	Dg	Vlg	cg	2	26.62~27.62m: 割れ目が多い。0.5~1.5cm間隔で網状に発達。 28.21~28.50m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で発達し、脆弱。 ●28.50~28.66m: 破砕帯 ▲28.50~28.51m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2) 幅1~1.5mmの黄白色粘土を伴う。 ▲28.51~28.53m: 砂・細礫混りシルト状破砕部(Hb)。上端50'、下端40'。幅23~30mm。 ▲28.53~28.66m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。上端40'、下端は不明瞭。幅120mm。粘土細脈が分布。29.91~30.21m: 傾斜40~55'の割れ目が0.2~2cm間隔で分布。一部で割れ目沿いに岩組織が不明瞭。30.21~32.40m: 割れ目はやや多い。傾斜40~50'割れ目が主。32.40~32.67m: 不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達。片状。 33.01~35.14m: 非常に硬質であるが割れ目がやや多く一部で片状化。 34.77m: 粘土脈。傾斜60'。幅5~12mm。黄褐~灰白色。 35.14~35.74m: 風化・変質で割れ目が不規則で網状に発達。 36.43~37.52m: 傾斜50'割れ目と不規則な割れ目が分布。角礫~片状。 37.52~37.89m: 角礫状~岩片状。 ●38.10~38.27m: 破砕帯 ▲38.10~38.27m: 角礫混り砂状破砕部(Hj)。上端40'、下端50'。幅11cm程度。灰白色~淡黄白色。 38.67~39.21m: 割れ目。岩組織が不明瞭。角礫岩核で白~淡赤白色粘土が不規則に分布。 39.21~41.29m: 傾斜30~50'と不規則な割れ目が分布し、薄く白~黄褐のシルトを挟む。 40.25~40.31m: 上端40'、下端50'。幅5cm程度。灰白色の粘土混り砂状。 41.65~41.74m: 割れ目が密集。 42.13~42.71m: 強く風化変質し軟化。 43.51~43.81m: 強く風化変質し軟化。上端の50'の割れ目に砂混りシルトを挟む。幅8~10mm。 44.63~45.20m: 強く風化変質し角礫状~岩片状。 45.90~47.37m: 割れ目が多い。間隔1~3cmで網状に割れ目が発達。 ●47.37~47.40m: 破砕帯 ▲47.37~47.40m: 角礫混り砂状破砕部(Hb)。上端40'、幅20mm程度。 47.40~49.24m: シルト混り砂礫状。網目状に粘土~シルトが分布。 ●49.24~49.55m: 破砕帯 ▲49.24~49.27m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。上端20'、下端35'。灰~灰白色を呈する。 ▲49.27~49.55m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hj)。上端35'、下端35'。灰~淡赤白色を呈する。 ▲49.42~49.45m: 角礫混り粘土状破砕部(Hb)。上端50'、下端20'。上下端に幅0.3~5mmの暗灰粘土を伴う。 ▲49.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45'、幅5~8mm。白~淡赤白色。 50.50~51.43m: ノンコア 52.92~53.33m: 強く風化変質し岩組織は不明瞭。 ●53.33~53.35m: 破砕帯 ▲53.33~53.35m: 砂混り粘土状破砕部(Hb)。上端15'。幅5~15mm。灰白色。下部は砂・細礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。下端15'。幅5~15mm。灰白色。 55.40~55.84m: 割れ目が密集。全体に赤色を帯びる。 57.42~57.68m: 変質作用により岩盤が劣化し軟質。長石類の大半は緑色鉱物に変質。	0	D'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																															
																																																																								10	20	30	40	50																																																																										
																																																																								50				花崗斑岩	明褐灰	Dg	Vlg	cg	2	26.62~27.62m: 割れ目が多い。0.5~1.5cm間隔で網状に発達。 28.21~28.50m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で発達し、脆弱。 ●28.50~28.66m: 破砕帯 ▲28.50~28.51m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2) 幅1~1.5mmの黄白色粘土を伴う。 ▲28.51~28.53m: 砂・細礫混りシルト状破砕部(Hb)。上端50'、下端40'。幅23~30mm。 ▲28.53~28.66m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。上端40'、下端は不明瞭。幅120mm。粘土細脈が分布。29.91~30.21m: 傾斜40~55'の割れ目が0.2~2cm間隔で分布。一部で割れ目沿いに岩組織が不明瞭。30.21~32.40m: 割れ目はやや多い。傾斜40~50'割れ目が主。32.40~32.67m: 不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達。片状。 33.01~35.14m: 非常に硬質であるが割れ目がやや多く一部で片状化。 34.77m: 粘土脈。傾斜60'。幅5~12mm。黄褐~灰白色。 35.14~35.74m: 風化・変質で割れ目が不規則で網状に発達。 36.43~37.52m: 傾斜50'割れ目と不規則な割れ目が分布。角礫~片状。 37.52~37.89m: 角礫状~岩片状。 ●38.10~38.27m: 破砕帯 ▲38.10~38.27m: 角礫混り砂状破砕部(Hj)。上端40'、下端50'。幅11cm程度。灰白色~淡黄白色。 38.67~39.21m: 割れ目。岩組織が不明瞭。角礫岩核で白~淡赤白色粘土が不規則に分布。 39.21~41.29m: 傾斜30~50'と不規則な割れ目が分布し、薄く白~黄褐のシルトを挟む。 40.25~40.31m: 上端40'、下端50'。幅5cm程度。灰白色の粘土混り砂状。 41.65~41.74m: 割れ目が密集。 42.13~42.71m: 強く風化変質し軟化。 43.51~43.81m: 強く風化変質し軟化。上端の50'の割れ目に砂混りシルトを挟む。幅8~10mm。 44.63~45.20m: 強く風化変質し角礫状~岩片状。 45.90~47.37m: 割れ目が多い。間隔1~3cmで網状に割れ目が発達。 ●47.37~47.40m: 破砕帯 ▲47.37~47.40m: 角礫混り砂状破砕部(Hb)。上端40'、幅20mm程度。 47.40~49.24m: シルト混り砂礫状。網目状に粘土~シルトが分布。 ●49.24~49.55m: 破砕帯 ▲49.24~49.27m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。上端20'、下端35'。灰~灰白色を呈する。 ▲49.27~49.55m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hj)。上端35'、下端35'。灰~淡赤白色を呈する。 ▲49.42~49.45m: 角礫混り粘土状破砕部(Hb)。上端50'、下端20'。上下端に幅0.3~5mmの暗灰粘土を伴う。 ▲49.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45'、幅5~8mm。白~淡赤白色。 50.50~51.43m: ノンコア 52.92~53.33m: 強く風化変質し岩組織は不明瞭。 ●53.33~53.35m: 破砕帯 ▲53.33~53.35m: 砂混り粘土状破砕部(Hb)。上端15'。幅5~15mm。灰白色。下部は砂・細礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。下端15'。幅5~15mm。灰白色。 55.40~55.84m: 割れ目が密集。全体に赤色を帯びる。 57.42~57.68m: 変質作用により岩盤が劣化し軟質。長石類の大半は緑色鉱物に変質。	0	D'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																										
																																																																																																													10	20	30	40	50																																					
																																																																																																													50				花崗斑岩	明赤灰	Dg	Vlg	cg	2	26.62~27.62m: 割れ目が多い。0.5~1.5cm間隔で網状に発達。 28.21~28.50m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で発達し、脆弱。 ●28.50~28.66m: 破砕帯 ▲28.50~28.51m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2) 幅1~1.5mmの黄白色粘土を伴う。 ▲28.51~28.53m: 砂・細礫混りシルト状破砕部(Hb)。上端50'、下端40'。幅23~30mm。 ▲28.53~28.66m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。上端40'、下端は不明瞭。幅120mm。粘土細脈が分布。29.91~30.21m: 傾斜40~55'の割れ目が0.2~2cm間隔で分布。一部で割れ目沿いに岩組織が不明瞭。30.21~32.40m: 割れ目はやや多い。傾斜40~50'割れ目が主。32.40~32.67m: 不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達。片状。 33.01~35.14m: 非常に硬質であるが割れ目がやや多く一部で片状化。 34.77m: 粘土脈。傾斜60'。幅5~12mm。黄褐~灰白色。 35.14~35.74m: 風化・変質で割れ目が不規則で網状に発達。 36.43~37.52m: 傾斜50'割れ目と不規則な割れ目が分布。角礫~片状。 37.52~37.89m: 角礫状~岩片状。 ●38.10~38.27m: 破砕帯 ▲38.10~38.27m: 角礫混り砂状破砕部(Hj)。上端40'、下端50'。幅11cm程度。灰白色~淡黄白色。 38.67~39.21m: 割れ目。岩組織が不明瞭。角礫岩核で白~淡赤白色粘土が不規則に分布。 39.21~41.29m: 傾斜30~50'と不規則な割れ目が分布し、薄く白~黄褐のシルトを挟む。 40.25~40.31m: 上端40'、下端50'。幅5cm程度。灰白色の粘土混り砂状。 41.65~41.74m: 割れ目が密集。 42.13~42.71m: 強く風化変質し軟化。 43.51~43.81m: 強く風化変質し軟化。上端の50'の割れ目に砂混りシルトを挟む。幅8~10mm。 44.63~45.20m: 強く風化変質し角礫状~岩片状。 45.90~47.37m: 割れ目が多い。間隔1~3cmで網状に割れ目が発達。 ●47.37~47.40m: 破砕帯 ▲47.37~47.40m: 角礫混り砂状破砕部(Hb)。上端40'、幅20mm程度。 47.40~49.24m: シルト混り砂礫状。網目状に粘土~シルトが分布。 ●49.24~49.55m: 破砕帯 ▲49.24~49.27m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。上端20'、下端35'。灰~灰白色を呈する。 ▲49.27~49.55m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hj)。上端35'、下端35'。灰~淡赤白色を呈する。 ▲49.42~49.45m: 角礫混り粘土状破砕部(Hb)。上端50'、下端20'。上下端に幅0.3~5mmの暗灰粘土を伴う。 ▲49.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45'、幅5~8mm。白~淡赤白色。 50.50~51.43m: ノンコア 52.92~53.33m: 強く風化変質し岩組織は不明瞭。 ●53.33~53.35m: 破砕帯 ▲53.33~53.35m: 砂混り粘土状破砕部(Hb)。上端15'。幅5~15mm。灰白色。下部は砂・細礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。下端15'。幅5~15mm。灰白色。 55.40~55.84m: 割れ目が密集。全体に赤色を帯びる。 57.42~57.68m: 変質作用により岩盤が劣化し軟質。長石類の大半は緑色鉱物に変質。	0	D'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
																																																																																																																																																		10	20	30	40	50

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位(m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N値~深度) 図					室内試験 (孔内水位並重)	掘進 掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ 給庄 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)				
														N	10	20	30	40										50			
60	35.83	60.65		花崗斑岩	赤灰	Cg IVg 2	γ	2		59.55~60.85m: 割れ目沿いに細片化し、緑色鉱物脈を挟在。	CL'						8/23	80													
70				アブラライト	褐灰	Eg VIg dg δ 4	γ	2		60.65~150.00m: アブラライト (Ap) ●60.85~61.12m: 破砕帯 ▲60.85~61.12m: 粘土混り角礫状破砕部 (Hj) 上端40'、下端50'で境界明瞭。岩組織は残留硬質。	CL'																				
						Cg Vg 2	γ	2	62.97~63.09m: 割れ目が密集し脆弱。下端に傾斜45'、幅1~2mmで緑白色粘土が挟在。	CM'																					
80				アブラライト	明褐灰	Cg Vg 2	γ	2		64.82~65.32m: 傾斜30~45'および70'程度の割れ目が発達。片状。	CL'																				
						Dg Vg 3	δ	3	65.32m: 灰白色砂混り粘土脈。傾斜45'、幅5mm以下。	CM'																					
						Cg IVg 2	γ	2	65.32~65.86m: 風化・変質でコアは脆弱化。	CL'																					
						Bg IVg cg β 3	β	3	67.38~67.51m: 上端35'、下端20'。風化・変質で軟質化し脱色。	CM'																					
90				アブラライト	褐灰	Cg IVg cg 2	γ	2		68.23~68.63m: 風化・変質著しく、岩組織と割れ目が不明瞭。	CL'																				
						Dg Vg dg δ 3	δ	3	68.63mまでは割目状に粘土脈が分布し、以深は土砂状。	CM'																					
100				アブラライト	明褐灰	Dg Vg cg 3	γ	3		68.63~70.03m: 割れ目の一部に厚さ0.3~1mmで暗オリーブ灰色の変質粘土を挟在。	CL'																				
						Bg Vg dg 2	γ	2	70.03~70.33m: 割れ目が密集し岩片~細片化。岩組織は不明瞭。全体に粘土の細脈が分布。	CM'																					
110				アブラライト	明褐灰	Dg Vg dg δ 3	δ	3		70.88~71.05m: 著しく軟化。	CL'																				
						Cg IVg cg 2	γ	2	72.14m: 砂混りシルトを挟在。傾斜40'、幅1~2mm。灰~緑灰色。白雲母が混入。	CM'																					
						Bg Vg dg 2	γ	2	73.74~77.91m: 割れ目の多寡を繰り返す。非常に硬質で未風化部が主。	CL'																					
						Bg IIIg cg 2	γ	2	77.38m: 傾斜40'の割れ目に黄鉄鉱が晶出し濃集。	CH'																					
120				アブラライト	明褐灰	Bg Vg dg 2	γ	2		78.25~79.14m: 割れ目はやや多いが、非常に硬質なものが主。	CL'																				
						Cg Vg dg 3	γ	3	79.42m: 石英脈。傾斜20'、幅5~10mm。	CM'																					
130				アブラライト	褐灰	Dg Vg dg δ 3	δ	3		79.77~79.79m: 傾斜40'の割れ目に灰白~暗褐色のシルト質砂挟在。幅8~10mm。	CL'																				
						Bg IVg cg 2	γ	2	82.13~83.59m: 割れ目面は緑白~オリーブ灰色。白雲母や黄鉄鉱が付着。	CM'																					
140				アブラライト	灰白	Bg IIIg cg 2	β	2		83.59~83.88m: 傾斜30~50'の割れ目が4~10cm間隔で発達し、不規則な高角度割れ目が分布。	CH'																				
						Bg Vg cg 2	β	2	83.88~84.54m: 割れ目少なく、非常に硬質が主。傾斜45'が主。	CH'																					
150				アブラライト	褐灰	Cg IVg cg 3	γ	3		84.54~85.14m: 割れ目が多く細片~細粒化。	CL'																				
						Bg IIIg cg 2	β	2	85.06~89.74m: 大半は割れ目少なく、非常に硬質。傾斜30~40'の割れ目が主。	CH'																					
160				アブラライト	褐灰	Bg IIIg cg 2	β	2		87.61~88.31m: 割れ目沿いに脱色。割れ目面はオリーブ灰色を帯びる。	CM'																				
						Bg IIIg cg 2	β	2	87.73m: 傾斜40'の割れ目に黄鉄鉱が晶出し濃集。	CH'																					
						Bg IIIg cg 2	β	2	88.22m: 傾斜43'の割れ目は暗オリーブ灰色化し、柱状の石英を晶出。	CH'																					
						Cg IVg cg 3	γ	3																							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化質	記事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 ← cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 ( ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図					室内試験 原位置試験 (孔内水位並荷)	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)			
													N	0	10	20	30											40	50	
									90.08~90.56m: 中角度の割れ目が発達し、岩片~角礫状を呈する。	11 [11]	CL'																			
									91.08~91.13m: 割れ目が密集、変質、コアは細礫状。	9 [9]																				
									91.13m: 傾斜40°の割れ目沿いに黄鉄鉱が晶出。	6 [6]	CM'																			
									92.63~93.58m: 割れ目間隔が10cm以上で、コアは柱状。	7 [7]																				
									94.00~94.63m: 低~中角度の割れ目が発達。岩片~角礫状。	7 [7]																				
									94.24m: 割れ目に灰白色砂質粘土挟在。傾斜45°、幅1~2mm。	7 [7]																				
									95.07~96.03m: 中角度の割れ目が多く岩片~角礫状。	5 [5]	CL'																			
									96.38~96.97m: 中角度割れ目や微細な割れ目が発達し、コアは角礫状。	10 [10]	CM'																			
									98.28~100.40m: 不規則な割れ目が発達。岩片~角礫状。	9 [9]																				
									100.40~101.03m: 細かい割れ目が発達。一部は変質も受けやや軟質化。角礫~土砂状化。	9 [9]																				
									●101.47~101.52m: 破砕帯 ▲101.47~101.50m: 粘土質砂状破砕部(Hb)、傾斜25°、幅30mm。灰白色 ▲101.50~101.52m: 粘土混り砂状破砕部(Hj)、幅20mm。灰白~明褐色。	7 [7]	CL'																			
									102.55~102.94m: 中角度の割れ目が多く、岩片~角礫状。	8 [8]																				
									102.94~103.11m: 礫~土砂状化。一部に灰白色粘土脈が分布。	8 [8]																				
									104.44~105.54m: 中角度の割れ目が多く、主に岩片状。	11 [11]	CM'																			
									●105.54~105.61m: 破砕帯 ▲105.54~105.61m: シルト混り砂状破砕部(Hi)、上下傾45°、オリブ灰。灰白色粘土脈が分布。	7 [7]	CL'																			
									106.48~106.49m: 傾斜15°と50°の割れ目に粘土質砂が挟在。幅3~6mm。暗緑灰色。	4 [4]																				
									106.78~106.80m: 粘土質砂礫状。傾斜50°。暗緑灰色。	3 [3]																				
									107.29~107.45m: 砂~細礫状。灰白色粘土脈が網目状に分布。	8 [8]	CL'																			
									107.30m: 暗灰色砂質粘土挟在。傾斜55°、幅3~9mm。黄鉄鉱を伴う。	8 [8]																				
									●109.16~109.46m: 破砕帯(D-1) ▲109.16~109.19m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)、傾斜75°、幅2~10mm。 ▲109.18~109.30m: 粘土質砂礫状破砕部(Hb)、下端75°、幅60mm。 ▲109.30~109.32m: 砂質粘土状破砕部(Hc-2)、幅10~20mm。 ▲109.32~109.46m: 角礫状破砕部(Hj)、傾斜80°。下端に幅1mmの白色粘土を伴う。	6 [6]																				
									109.46~112.49m: 中角度の割れ目が多く、岩片~細礫状。	11 [11]																				
									110.95~111.16m: 変質が著しく暗緑灰色化。白色粘土細脈が網目状に分布。	11 [11]	CM'																			
									111.80m: 砂混り粘土挟在。傾斜45°、幅4~6mm。暗灰色。	11 [11]																				
									114.66~116.33m: 割れ目が多く、岩片~角礫状。	11 [11]																				
									116.04m: 傾斜45°の割れ目に淡灰色粘土挟在。幅1~2mm。	7 [7]	CL'																			
									116.33~117.37m: 割れ目はやや多いが、ほぼ未風化で非常に硬質。	9 [9]																				
									117.58m: 傾斜45°の割れ目に暗緑灰色の細粒物質を挟在。幅2~4mm。黄鉄鉱、緑泥石、石英が晶出。周縁が幅20mm程度淡緑色化。	10 [10]	CM'																			
									120.30~122.00m: 傾斜10~40°と60~80°の割れ目が交差。径1~3cmに岩片化。	7 [7]	CL'																			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化状態	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験		室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)															
														( N 値 )	( 値 )																									
				ア プ ラ イ ト	褐 灰	Cg	Vg	cg	β	2	122.18~122.40m: 傾斜55~60割れ目沿い一部軟化。	4 (0) (100)																												
											123.39m: 割れ目が密集。下端に1m未満の暗緑色粘土や鏡肌が分布。	4 (0) (100)																												
											124.89~129.41m: 脱色・白色化した密着割れ目を含み、分離・細片化。	5 (0) (100)																												
											125.65m: 傾斜30°割れ目面周縁幅2~3cmが変質で暗緑色化。幅0.5mmの暗緑色粘土を挟在。割れ目多く、岩片状化。傾斜35°と60~70°割れ目が主。	9 (0) (100)																												
											129.79~131.00m: 傾斜35~45°と10~40°の割れ目が交錯し、径10~30mmの岩片状。 130.50~130.54m: 傾斜45°の割れ目沿いに暗緑色化する。幅1~3mmの石英脈を伴う。 131.00~132.00m: コア欠	Cg	Vg	cg	β	2	132.00~133.00: 割れ目と微細な割れ目が10~30mm間隔で密に分布。径10~30mmに岩片化。	5 (0) (100)																						
																	133.57~134.00m: 長さ5mm程度で扁平に細礫化。硬質。	5 (0) (100)																						
																	134.00~135.00m: コア欠																							
																	135.00~135.50m: 割れ目が多い。岩片状。硬質。 135.50~136.00m, 136.50~136.75m: コア欠																							
											136.75~137.08m: 径10~20mmの岩片状。 137.67~137.73m: 傾斜45~50°の割れ目沿いに径10mm程度に角礫状化。暗緑色粘土が挟在。 138.21~138.42m: 暗緑色鉱物が付着。 138.42~140.04m: 割れ目が多い。硬質。 140.04~140.33m: 割れ目が密集し、細片~細粒化。一部硬質部が残るが上下位に比べ軟質。 141.71~142.00m: 大半の割れ目沿いで細片~細粒化し軟質。 142.48~143.53m: 割れ目沿いが細片~細粒化。 143.53~145.46m: 割れ目はやや多いが、ほぼ未風化で新鮮。 145.46~150.00m: 割れ目が多く、割れ目の沿い一部は細片化。 146.90m: 割れ目沿いの変質で周縁幅3cmが暗緑色化。 147.13m: 割れ目に暗緑色の熱水変質脈を伴い周縁は暗緑色を帯びる。下端側幅6~7cmが脱色。 149.80~149.85m: 傾斜40°、幅40mm。暗緑色。熱水変質脈を不規則に伴う。	Cg	Vg	cg	β	2	136.75~137.08m: 径10~20mmの岩片状。	2 (0) (100)																						
																	137.67~137.73m: 傾斜45~50°の割れ目沿いに径10mm程度に角礫状化。暗緑色粘土が挟在。	3 (0) (100)																						
					138.21~138.42m: 暗緑色鉱物が付着。	4 (0) (100)																																		
					138.42~140.04m: 割れ目が多い。硬質	4 (0) (100)																																		
					140.04~140.33m: 割れ目が密集し、細片~細粒化。一部硬質部が残るが上下位に比べ軟質。	5 (0) (100)																																		
					141.71~142.00m: 大半の割れ目沿いで細片~細粒化し軟質。	5 (0) (100)																																		
					142.48~143.53m: 割れ目沿いが細片~細粒化。	6 (0) (100)																																		
					143.53~145.46m: 割れ目はやや多いが、ほぼ未風化で新鮮	8 (0) (100)																																		
					145.46~150.00m: 割れ目が多く、割れ目の沿い一部は細片化。 146.90m: 割れ目沿いの変質で周縁幅3cmが暗緑色化。 147.13m: 割れ目に暗緑色の熱水変質脈を伴い周縁は暗緑色を帯びる。下端側幅6~7cmが脱色。 149.80~149.85m: 傾斜40°、幅40mm。暗緑色。熱水変質脈を不規則に伴う。	Cg	Vg	cg	β	2	145.46~150.00m: 割れ目が多く、割れ目の沿い一部は細片化。	10 (0) (100)																												
											146.90m: 割れ目沿いの変質で周縁幅3cmが暗緑色化。	9 (0) (100)																												
											147.13m: 割れ目に暗緑色の熱水変質脈を伴い周縁は暗緑色を帯びる。下端側幅6~7cmが脱色。	8 (0) (100)																												
											149.80~149.85m: 傾斜40°、幅40mm。暗緑色。熱水変質脈を不規則に伴う。	9 (0) (100)																												

余白

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日				
		H27-B-1					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ 火山灰物 炭土化石 貝木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	0.30m				盛土		0.00 ~ 0.30m 細 ~ 中粒砂主体の盛土
	0.70m			0.30 ~ 0.70m 径1.0 ~ 3.0cmの礫を含む中粒砂主体の盛土			
	0.90m			0.70 ~ 0.90m 径0.5 ~ 1.0cmの礫を含む中粒砂主体の盛土			
1.00m				0.90 ~ 1.80m 径1.0 ~ 4.0cmの礫が主体の盛土			
2.00m	1.80m			1.80 ~ 2.40m 径1.0 ~ 3.0cm礫を含む中粒砂主体の盛土			
	2.40m			2.40 ~ 3.00m 径1.0 ~ 4.0cmの礫が主体の盛土			
3.00m					*スライム 盛土		3.00 ~ 4.00m スライムにより判別不可
4.00m						7.5YR 7/1 明褐色	

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27B-1	観察日				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ 灰物 山質 炭土 貝化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等	
	4.10					7.5YR 7/10 明褐灰	4.00 ~ 4.10 m スライムにより判別不可	
	4.30				砂礫	10YR 7/5 黄橙	4.10 ~ 4.30 m 礫率60%の砂礫で、クサリ礫や半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~1.0mmの粗粒砂	礫種はGp 礫径は2~30mmの 亜角礫主体
	4.40				砂礫	10YR 4/3 混じり砂		
	4.65				砂	7.5YR 6/2 灰褐	4.30 ~ 4.65 m 礫率20~30%で、半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~1.0mmの粗粒砂。4.40~4.50m付近に粘土状の粗粒部が認められる。鉄化層理が認められる。	礫種はGp 礫径は2~30mmの 亜角礫主体
5.00m	5.30						4.65 ~ 6.60 m 礫率60~80%。砂は径0.5~2mmの極粗粒砂~粗粒砂。4.65~5.85m付近は径8mm以上の巨礫が多く含まれる。5.40~5.60m付近で一部礫に明末灰(2.5YR 7/1)や明褐灰(7.5YR 7/1)、極暗赤褐(2.5YR 2/3)が認められる。6.15~6.30m付近は径8mm以上の巨礫が著しく減少する。6.30~6.60m付近は径8mm以上の半クサリ礫の巨礫が多く含まれる。	礫種はGp 礫径は2~50mmの 亜角礫~亜円礫主体 一部最大径200mmの 巨礫あり
6.00m	6.60							
	6.80					7.5YR 7/1 明褐灰	6.60 ~ 6.80 m スライムのため判別不可	
7.00m	7.15				砂礫	7.5YR 7/2 明褐灰	6.80 ~ 7.15 m 礫率20~30%で半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~2.0mmの極粗粒~粗粒砂	礫種はGp 礫径は2~30mmの 亜円礫主体
	7.30				腐食土	10YR 5/1 黄褐	7.15 ~ 7.30 有機物を多く含む腐食土壌	
	7.55				砂礫	10YR 5/4 混じり砂	7.30 ~ 7.55 礫率20~30%で半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~2.0mmの極粗粒~粗粒砂	礫種はGp 礫径は2~30mmの 亜円礫主体
8.00m	8.00						7.55 ~ 8.00 スライムのため判別不可	

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等



# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27B-1	観察日			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 山灰物 or 炭質土 灰質土 炭化物 化石 貝片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	8.60m		砕礫		セキイロ	10YR 6/2 ✓ 灰黄褐	8.00~8.60m スライムのため判別不可
9.00m	9.10		スライム		セキイロ	10YR 6/6 ✓ 明黄褐	8.60~9.50m ・石礫率 30~40% でクサリ石礫や半クサリ石礫を多く含む ・石は径 0.5~1.0mm の粗粒砂 ・8.75~8.85m 付近はスライムのため判別不可 ・9.25~9.35m 付近に黒色土(土壤)に挟まれた砂層が認められ、黒色土層砂層共に 5° 傾斜し、全体の幅は 10cm (黒色土 2cm, 砂 4cm, 下 2cm) ・黒色土層(上下)中に植物片が認められ
	9.50m		湖沼土層 全体粗粒		セキイロ	10YR 6/1 ✓ 褐灰	9.50~10.00m スライムのため判別不可
10.00m	10.65m		GP- 砕礫		セキイロ	10YR 5/6 ✓ 黄褐	10.00~10.65m ・石礫率 70~80% で半クサリ石礫を一部含む ・石は径 0.5~2.0mm の極粗粒~粗粒砂 ・径 0.5~1cm の石英が多く含まれ
	11.00m		AP		セキイロ	10YR 6/2 ✓ 灰黄褐	10.65~11.05m スライムのため判別不可
	11.85m		GP		セキイロ	7.5YR 6/3 ✓ 黄褐	11.05~11.85m ・石礫率 50~60% でクサリ石礫~半クサリ石礫を含む ・石は 0.5~2.0mm の粗粒~粗粒砂 ・径 0.5~1cm の石英が多く含まれ
12.00m			GP		スライム	10YR 8/3 灰黄褐	11.85~12.00m スライムのため判別不可

石礫種 GP  
石礫径 2~30mm の  
亜角礫~亜円石礫主体

石礫種 GP-一部 AP 含む  
石礫径 2~10mm の亜角礫  
~亜円石礫主体  
一部最大径 200mm の  
巨石礫あり

石礫種 GP  
石礫径 2~100mm の  
粗粒砂  
亜角礫~亜円石礫主体

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日				
		H27B-1					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	マーカ 火山灰物 炭質土 貝化石 木片	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	12.10 <sub>m</sub>						12.00~12.10 <sub>m</sub> スライムのため判別不可
	12.49 <sub>m</sub>				砂質 砂質		12.10~12.50 <sub>m</sub> 礫率5%未満で、クワリ石礫を 含む。 (希言) 砂は0.5~1.0mmの粗粒砂
	13.00 <sub>m</sub>				Gp		↓ 「基礎岩コア観測点」参照
	14.00 <sub>m</sub>						
	15.00 <sub>m</sub>						
	16.00 <sub>m</sub>						

礫種 Gp  
礫径 2~30mm の  
亜円礫主体

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名

孔番・深度

427 B-1 (12.49 ~ 15.00)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 10 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
11												
12	12.49											
13			Gp	10R 7/4 12in 黄橙	✓	✓	✓	✓	✓	0.1	1	D
14										0.1	1	
15	14.69 14.84			10R 7/2 12in 黄橙	✓	✓	✓	✓	✓	0	1	CL

(署名) 「田中 隆雄」 敬  
↑

12.49 ~ 14.84 m : D  
 1. 底に20%程度の粗粒砂岩が埋まっている。  
 2. 上部は一部消滅した砂岩層(10m)。  
 3. 砂岩は20%程度の粗粒砂岩が埋まっている。  
 4. 上部は10-30%程度の粗粒砂岩が埋まっている。

14.84 ~ 15.00 m : C2

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 3-1 (15 ~ 20)										
標尺 15 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5												・全体に 10-30° の低角度割れ目主体で、一部は割れ目 が風化で砂状化している。 ・12.30m 以降は 21.5m まで 220μm 鉱滓主体。 ・15.22 ~ 16.44m は硬さの硬質岩片が豊富にある。
1.6								11.11m				・16.00 ~ 17.62m 間、割れ目周辺の硬質岩が部分的に 分布する。
0.5												・16.75 ~ 16.84m φ30 ~ 40% の硬さ「C」の硬質岩片 が部分的に分布
1.7			Gp		C	V	D	3	0.2m		C2	・17.44m 割れ目幅が 10 ~ 40% の砂状化が主。
0.5												
1.8	18.11				X	X			0.8m			・18.10 ~ 22.19m 上下の硬質岩が割れ目主体で分布 (TV) ・18.21m 幅 10% 程度の鉱滓が部分的に分布、黒褐色 が見られる。
0.5	18.46				C	V	D					
1.9									1.0m			
0.5												
2.0									0.4m			・19.60m 割れ目幅が 10% 砂状化が主。

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (20 ~ 25)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 20 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	0.5												
	2.1				✓ C	✓ IV	✓ D			14	14	C2	
	0.5												
	2.2									0	7		
		22.19											
	0.5		Gp	7.5R 7/3 1.8R 橙	✓ C	✓ V	✓ D	✓ 3					
	2.3									14	14		
	0.5												
	2.4									0	3		
	0.5	24.44											
	6.5	24.71			✓ C	✓ IV	✓ E	✓ E				D	
	2.5				✓ C	✓ IV	✓ D	✓ 3				C2	

21.16 ~ 22.01 m 10]. 割れ目等に幅10-30%程度の硬質部あり。

22.01 ~ 22.19 m 硬質部あり。

23.05 ~ 23.20 m 20-30%と70-90%割れ目あり。一部は硬質部同様に10%程度の細粒化。割れ目「E」が細粒化(24)。

24.16 m 硬質部 硬質部「E」を含む。硬質部は細粒化。

24.44 ~ 24.71 m : D  
風化と主付状を呈し  
表粗粒化割れ目「E」消滅(24)  
24.71 ~ 26.62 m : C2

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 2.5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
												10~30割れ目の主伴で、割れ目の一部は砂状化し、
0.5												
2.6			Gp'	2.5YR 7/3 灰褐色	✓	✓	✓		0.9		C2	26m 以降は割れ目の砂状化が顕著
	26.62				X							26.62 ~ 27.60 m : D
	27.00				✓	✓	✓		0.6			27.00m 以降は割れ目の粗細はほぼ均一、
	27.10				X	X	X					27.10m 以降は両者の割合は漸減し、砂状化が
												顕著化し、(27.00 ~ 27.10m は掘削時に流失)
0.5	27.47											
	27.60		Gp'	2.5YR 7/3 灰褐色	✓	✓	✓					27.60 ~ 28.00 m : C2
					✓	✓	✓					一部は粘着性の低い割れ目の中層割れ目と含有細片化
					✓	✓	✓					し易い割れ目を含む。
2.8	28.00				X	X	X		0.9			28.00 ~ 28.19 m : D
	28.19				X	X	X					28.19 ~ 28.61 m : C2
			Gp'	2.5YR 7/3 明褐色	✓	✓	✓					割れ目の一部は砂状化の部分も含む
0.5	28.61				X	X	X					28.61 ~ 28.68 m : D
	28.68				X	X	X					28.68 ~ 28.84 m : C2
	28.84				✓	✓	✓					割れ目の砂状化が顕著
2.9			Gp'	2.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓		0.5			28.84 ~ 30.74 : D
					✓	✓	✓					細粒の砂状化と呈現。
					✓	✓	✓					40~50% 程度の細粒の砂状化が顕著に呈現。
					✓	✓	✓					この部分中心部帯に、砂状化が顕著。
0.5					✓	✓	✓					30m 以降は砂状化が顕著に呈現。
3.0									0.3			

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05	30.00			2.5YR 7/2 明褐色	✓ C	✓ V	✓ E					D	<ul style="list-style-type: none"> <li>30.17 ~ 30.50 m: マンガン結晶付。</li> <li>30.30 ~ 30.53 m: 石英多量結晶 (一部は変質に付石英と推定)。</li> </ul>
	30.54				X	X							
31	31.00			10YR 5/6 黄褐色	✓ C	✓ V	✓ E		✓ 3	✓ 4		C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>30.74 ~ 32.48 m: C2</li> <li>硬さ D、主体 E、部分的に硬さ E、を含む。</li> <li>上部側の 30.74 ~ 31.30 m 間は風化に付褐変・酸化に付軟化に伴う。</li> <li>31.05 ~ 31.23 m: 熱水変質に付粘土変質、珪化変質の著しい。前者は粘土質、後者は石英脈に付晶洞状に晶出している。</li> <li>また、マンガン結晶と風化に伴う。全体は黄褐色の褐色色調を呈する。</li> </ul>
	31.30			10YR 7/2 黄褐色	✓ C	✓ V	✓ E	δ	✓ 3				
05	31.70			2.5YR 7/2 明褐色	✓ C	✓ V	✓ E		✓ 3	✓ 3		C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>31.70 ~ 32.20 m: 割明に付砂状化・砂粒の付着・付着を呈する。割明は 10 ~ 30% 程度の硬さ D、の残留部。全体は上下ともに脆く守る。</li> </ul>
	32.48				X	X	δ	3					
05	32.70				X	X						D	<ul style="list-style-type: none"> <li>32.48 ~ 32.70 m: D</li> <li>音響特性と割目付に付砂状化 (2m)。</li> </ul>
	32.70				X	X							
33	32.70								✓ 3	✓ 6		C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>32.70 ~ 34.54 m: C2</li> <li>割明に付厚さ 1 ~ 2% 程度の薄く砂状化部を呈す。</li> <li>一部は砂状化に付進行する部分あり。自然化に付長石多量。</li> <li>割明は 10 ~ 20% 主体、一部は 70 ~ 80% 割明に交差。</li> <li>33.17 m: 15% 割明に付 75% 割明 E6、C2 (主位量 10%、右2)。</li> <li>33.40 m: 50% 割明に付厚さ 20% 砂状化。</li> <li>33.75 m: 5% 割明に付厚さ 10% 砂状化。</li> </ul>
	34.54								✓ 14	✓ 14			
05	34.54			10YR 5/6 黄褐色	✓ C	✓ V	✓ E		✓ 4	✓ 4		C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>34.00 m 以下、密着度の低い中層割明に付、10% 程度の砂状化を呈す。割明は消滅している。</li> <li>34.03 m: 40% 程度の石英脈、密着して連続。</li> </ul>
	34.59			2.5YR 7/2 明褐色	✓ C	✓ V	✓ E		✓ 3	✓ 4			
35	34.54								✓ 0	✓ 4		C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>34.54 ~ 34.57 m: 破砕帯、主断面径 59 m (11°)</li> <li>34.54 ~ 34.59 m: 4)</li> <li>上部 10 ~ 40% 程度の砂状化、下部 10% 程度の砂状化を呈す。</li> <li>95% 程度の Gp 質主体に付若干の砂状化・砂粒・粘土・石英脈を呈す。色調は 10YR 5/6、厚さ 40 ~ 50%。</li> <li>34.59 m: Hc-2</li> </ul>
	34.59								✓ 0	✓ 4			

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (35 ~ 40)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 35 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					ROD
	35.37				✓ c	✗ D	✓ D					C2	上下端は11°連続的に連続。φ1%石英粒は10%程度含む。 全調は圧変帯(10R/2)、厚さ3~4% 34.69~35.37m: C 細粒化の部中骨割れ目あり	
0.5					✗ A	✗ X							35.37~37.15m: D 細粒化(硬さE)主体の部あり。岩組織中割れ目は3割程度あり。 部分的に圧変帯は中石部を含む。	
36									0	4			33~36m: T 子 (CT 20%)	
0.5			Gp	7.5R 1/2 明揚灰	✓ c	✓ V	✓ E	δ	3			D	36.09~36.26m, 36.63~36.62m に硬質部あり。 硬質部は残留あり。	
37	37.15				✗ X	✗ X			0	9			36.70m 1x17mm φ10~30%硬質部ありの部あり。 硬質部は残留あり。	
0.5													37.15~42.00m: C 0~30割れ目程度。割れ目部で砂状化部も も含まれる。	
38									0	7			37.40m 子割れ目幅10~20%砂状化。微細な硬質部 も含まれる。	
0.5					✓ c	✓ V	✓ D						C2	38.56~38.74m (6)。φ20~30%硬質部ありの部あり。 硬質部は残留あり。
39									0	6				38.26~38.70m。硬質部ありの部30~50%ありの部あり。 硬質部は残留あり。
0.5														
40									0	4				38.90m 幅10~20、0°注線色部あり (緑色石層部と相定はなし)。



調査名

孔番・深度

427 B-1 (40 ~ 45)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 40 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
05	40.39			2.5YR 7/2 暗褐色								40.32 ~ 40.79 m: 割れ目の存在は進む。硬さ D <sub>2</sub> 程度の部分の一部分は残留し、至厚に2つの層状に呈し、2下から下へ断つる。
41				2.5YR 7/3 暗褐色								
05	42.00		Grp	10YR 7/3 灰褐色								42.00 ~ 42.41 m: D 一部の割れ目は至厚に閉じられている。 42.24 ~ 42.28 m: 上端15%、下端10%の割れ目10個あり、厚さ30%の黄鉄鉱・淡黄色粒化(変質層4) 1%の白色粘土鉱物の点状(=u)。
05	42.41			2.5YR 7/2 暗褐色								
43	43.29			2.5YR 6/4 暗褐色								42.24 ~ 44.53 m: 破砕帯(主断面 44.31 m) 44.24 ~ 44.31 m: Hb 上端5%の石英粒・0.5-1%のGpを伴って連続。下部35%の割れ目を伴って連続。1-2%の石英粒・0.5%のGpを伴った20-30%の含石質粘土。色調は灰褐色(2.5Y 7/2)。厚さ5-10%。 44.31 m: Hc-1 上下端35%の連続的に連続。1%の石英粒・0.5%のGpを伴った。色調は灰褐色(10YR 7/2)。厚さ1-2%。 44.31 ~ 44.53 m: Hj 上端35%の連続的に、下部70%の割れ目を伴って連続。0.5%の石英粒・0.5%のGpを伴った。色調は灰褐色(10YR 7/2) ~ 淡色(2.5Y 9/3)。厚さ10-20%。 44.53 ~ 44.63 m: 破砕帯(主断面 44.66 m) 44.53 ~ 44.66 m: Hj 上端70%の割れ目を伴って、下部65%の連続的に連続。1-2%の石英粒・0.5%のGpを伴った。色調は灰褐色(10YR 7/2) ~ 淡色(2.5Y 9/3)。厚さ5%。 44.66 ~ 44.68 m: Hc-1 55%の上端連続的、下部は一部は閉じられて連続。1%の石英粒・0.5%のGpを伴った。
05	44.53			2.5Y 8/6 灰褐色								
05	44.66			2.5Y 8/6 灰褐色								44.70 ~ 44.83 m: Hc-1
05	44.83			2.5YR 7/2 暗褐色								

5725

42-5

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (45 ~ 50)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 y5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの硬さ	風化	変質	ROD			
	45.36			2.5YR 7/3								<p>(4%以下) 含む軟質粘土(砂質)。上下端は主に断面と同様に1%~2%、厚さ10%の脈状の2mm程度の砂質部を伴う。</p> <p>色調は黄褐色(10YR 4/2)、厚さ4~5mm</p> <p>45.68~46.70 m: Hb</p> <p>上端65°で波打り、下端50~70°で湾曲して連続。92%石英粒、4~5%粘土片を計20~30%含む中固結核の硬質粘土状。呈色。色調は明黄褐色(2.5Y 7/2)~灰褐色(5YR 6/1)、厚さ10~20%。</p> <p>46.70~46.93 m: HJ</p> <p>上端50~70°、下端25~45°で湾曲して連続。下端は幅1%以下の灰褐色(10YR 4/2)軟質粘土状。4~10%粘土片と若干の脈状の網状の薄層状の黄褐色軟質粘土状を伴う。全体は粘土浪の粘土状を呈す。色調は灰褐色(2.5YR 6/2)~淡黄色(2.5Y 6/3)、厚さ20~50%。若干の黄褐色の2mm程度の砂質部を伴う。</p> <p>46.93~45.36 m: D</p> <p>45.36~45.39 m: 破砕帯(主断面45.39 m)</p> <p>45.36~45.39 m: HJ</p> <p>上端中・下端で60°で波打り、下端は連続的に連続。4~5%前後の粘土片を伴う。若干の脈状の粘土。全体の粘土浪の粘土片を呈す。色調は明黄褐色(2.5YR 7/3)、厚さ5~10%。</p> <p>45.39 m: Hc-2</p> <p>上下端は65°で連続的に連続。一部は厚さ1%の2mm程度の砂質部を含む。厚さ1~2%の石英粒を5%含む軟質粘土(砂質)。色調は灰褐色(2.5YR 6/2)、厚さ2~4%。</p> <p>45.39~46.12 m: D</p> <p>1%前後の軟質粘土片を伴う。</p> <p>46.12~46.17 m: 破砕帯(主断面46.17 m)</p> <p>46.12~46.17 m: HJ</p> <p>上端50~70°で湾曲して連続的に連続。下端35~70°で湾曲して連続。95~10%粘土片と粘土(黄褐色)の砂質部に分布。全体は粘土質を呈す。主断面と同様に若干の粘土片を伴う。色調は淡黄色(2.5Y 6/3)、厚さ35%。</p> <p>46.17 m: Hc-2</p> <p>上端50°で湾曲して連続。厚さ2%の石英粒、3%粘土片を伴う。色調は黄褐色(10YR 4/2)、厚さ10%。</p> <p>46.17~47.40 m: D</p> <p>47.40~47.51 m: 破砕帯(主断面47.40 m)</p> <p>47.40 m: Hc-1</p> <p>上下端は50°で連続的に連続。1%石英粒と5%程度含む中・軟質粘土(砂質)。色調は灰褐色(2.5YR 6/2)、厚さ1~2%。</p> <p>47.40~47.51 m: Hb</p> <p>上端50°、下端50°で湾曲して連続。92~3%石英粒と20~30%含む軟質粘土(砂質)を呈す。若干の砂質部を伴う。色調は黄褐色(10YR 4/2)、厚さ70%。</p> <p>47.51~47.80 m: D</p> <p>岩組織は多量の割れ目と薄層状の砂質部を伴う。</p> <p>47.80~48.80 m: CL</p> <p>20~30%程度の粘土を伴う。色調は黄褐色(10YR 4/2)、厚さ10%。</p> <p>48.80~49.17 m: D</p> <p>粘土質の砂質部。若干の割れ目と薄層状の砂質部を伴う。</p> <p>49.06 mは62°で断面に割れ目(砂)を伴う。黄褐色の砂質部を伴う。</p> <p>49.17~49.27 m: 破砕帯(主断面49.20 m)</p> <p>49.17~49.20 m: Hb</p> <p>上端20°で波打り、下端30~36°で湾曲して連続。92~3%石英粒、4~5%粘土片を計20~30%含む軟質粘土(砂質)を呈す。色調は灰褐色(2.5Y 6/2)~明黄褐色(10YR 7/6)、厚さ10~25%。</p> <p>49.20~49.22 m: Hc-2</p> <p>上端30~36°、下端35~60°で湾曲して連続。4~10%石英粒と5~10%含む軟質粘土(砂質)。色調は黄褐色(10YR 4/2)、厚さ15%。</p> <p>49.22~49.27 m: HJ</p> <p>上端35~60°で湾曲して連続。下端20°で波打りして連続。92~4%石英粒、4~10%粘土片を計20~30%含む中固結核の硬質粘土状を呈す。色調は黄褐色(10YR 4/2)、厚さ10%。</p>
46	45.36			2.5YR 7/3								
	45.39			2.5YR 7/3								
	46.12			2.5YR 7/3								
	46.17			2.5YR 7/3								
47	46.12		Gp	2.5YR 7/3								
	46.17			2.5YR 7/3								
	47.40			10YR 5/6								
	47.51			10YR 5/6								
48	47.40			10YR 5/6								
	47.51			10YR 5/6								
	47.80			10YR 5/6								
49	47.80			10YR 5/6								
	48.80			10YR 5/6								
	49.17			2.5YR 7/3								
	49.20			2.5YR 7/3								
	49.27			2.5YR 7/3								
	49.30			2.5YR 7/3								
	49.40			2.5YR 7/3								
50	49.17			2.5YR 7/3								
	49.20			2.5YR 7/3								
	49.27			2.5YR 7/3								
	49.30			2.5YR 7/3								
	49.40			2.5YR 7/3								

調査名

孔番・深度 H27 B-1 (50 ~ 55) 観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50(m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	05			25YR 7/3 15% 粘	✓	✓	✓	✓	✓			
	50.78				X	X		X	X			
51	51.06				✓	✓	✓	✓	3	0	6	CL
	51.04				X	X						
05			Gp	25YR 4/2 灰褐色	✓	✓	✓	✓	✓			
	51.94				X	X						
52	51.94				✓	✓	✓	✓	3	0	5	
05					✓	✓	✓	✓	3	0	2	
	52.72				X	X						
	52.80				X	X						
	52.81				X	X						
53	53.17				✓	✓	✓	✓	3	0	2	
	53.22				X	X						
05					✓	✓	✓	✓	3	0	3	
	53.45				X	X						
	53.54				X	X						
54					✓	✓	✓	✓	3	0	4	
05				25YR 7/3 15% 粘	✓	✓	✓	✓	3			
55					✓	✓	✓	✓	3	0	3	

49.27 ~ 49.40 : D  
20~30% 割れ目あり。粘質。割れ目には1%の砂質。粘土

49.40 ~ 51.94 m : CL  
硬さ「C」の薄片の一部分に「D」の存在。30°前後の割れ目の存在。一部に粘土質の60°前後の割れ目の分布  
51.06 m 以降は同化と変質が軽微で硬さ「D」の硬さが分布している。

51.06 ~ 51.94 m 割れ目と粘着層。低い粘着層。粘着層。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

51.94 ~ 52.72 m : D  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

52.72 ~ 52.81 m : Hc-2  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

52.81 ~ 53.17 m : Hc-2  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

53.17 ~ 53.22 m : Hc-2  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

53.22 ~ 53.45 m : CL  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

53.45 ~ 53.54 m : D  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

53.54 ~ 54.10 m : CL  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

54.10 ~ 54.60 m : CL  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

54.60 ~ 54.97 m : CL  
粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。粘着層の粘着層に1%の砂質。

↑ ↓

51 52 53 54 55

↑ ↓

調査名

孔番・深度 H27 B- / ( 55 ~ 60 ) 観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 55 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	55.35								3			
	55.44											
56	56.08		Gp	2.5YR 7/3 15.0u 橙						6	7	
	56.66											
	56.84											
57	57.90									6	5	
	58.34											
	58.77											
59	59.28			2.5YR 5/4 15.0u 褐						6	6	
	59.48			2.5YR 7/3 15.0u 橙								
	59.82											
60	59.85								4	1	1	

・55.35m, 55.0mの2箇所にて連続的に割れ目と認められ、55.25m~56.66mは硬質と認められる。  
 55.35m割れ目上部一部には同様に砂状化している。粘り強さと認められる。

・56.43~56.67, 56.40割れ目ともに軟化し、硬質と認められる。

56.66~56.84m : D  
 同様に硬質と砂状化している。中10~20mmの硬質「D」の薄片が観察される。

56.84~58.77m : C  
 56.84~57.90m, 硬質「D」の薄片と併せて一部は硬質「E」も観察される。

57.30m以下は割れ目と共に同様に砂状化が進む。

・57.25~57.90mは27fz-27g2の時10層以上の砂状化と認められる。

・57.90~58.34m, 硬質「D」の薄片と併せて27fzに幅2~3%の石英質の粘り強さ(分布)を認め、各割れ目には粘り強さマシンの粘り強さがある。

・58.28m割れ目上部同様に砂状化。

・58.34~58.77m, 硬質「D」の薄片と併せて一部は割れ目と共に砂状化が進む。割れ目3つ消滅(0.6)と認められる。

58.77~59.28m : D  
 同様に粘り強さ(粘り強さ)の砂状化部分と併せて粘り強さ中割れ目10層以上に認められる。一部は27fz粘り強さEと認められる。

・59.10m, 20層以上の粘り強さの粘り強さの粘り強さ。

・59.28~59.48mは割れ目は消滅している。

・59.60~59.85m(10)は3本の13.5mm厚の割れ目と35°前後の分布、粘り強さ層(厚0.5~1%)の粘り強さ。

・59.82~59.85m : H  
 ・59.82~59.85m : H

27fz  
 57  
 5  
 50

調査名

孔番・深度

H27 B- / (60 ~ 65)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 60 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					FOD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分			
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質							
05	60.574		Gp	25YR 7/3 に近い橙	✓	✓	✓							C <sub>2</sub> ✓		
					✗	✗										
61	60.99						✓	✓								C <sub>4</sub> ✓
					✗	✗										
05	61.38						✓	✓								C <sub>4</sub>
					✗	✗										
62							✓	✓								C <sub>M</sub>
					✗	✗										
05	62.82						✓	✓								C <sub>M</sub>
					✗	✗										
63					✓	✓								D <sub>2</sub> ✓		
			✗	✗												
05	63.61				✓	✓								C <sub>2</sub> ✓		
			✗	✗												
64	64.00				✓	✓								C <sub>2</sub> ✓		
			✗	✗												
05	64.33				✓	✓								C <sub>M</sub>		
			✗	✗												
65					✓	✓								C <sub>M</sub>		
			✗	✗												

上端20~30cm部分が破砕され、下部40cmは連続的に連続。  
 42~54cm石英粒が5~10% 粘土化岩片と若干の粘土化  
 した粘土粒の存在に認められ、色調は灰褐色(25YR 7/3)、  
 厚さ30mm

59.05m: Hc-1  
 40cm上下端とも連続的に連続、41~54cm石英粒は約5%  
 (5%以下) 粘土質砂岩(砂質)に認められ、色調は灰褐色(25YR 7/3)  
 程度の粘土化に認められ、厚さ5~7mm

59.05~60.99m: C<sub>2</sub>  
 60.54m 部分に割れ目により風化が進み、硬さ「E」を含む  
 部分。

60.54m 以下は硬質となり硬さ「C」の連続である。  
 前者同様、割れ目により粘土質の塊状に認められる。

60.99~61.38m: C<sub>4</sub>  
 硬質、割れ目の塊状に認められる。

61.38~62.81m: C<sub>M</sub>  
 上端部の61.38~61.42m間と62.82m以下は、割れ目  
 により風化が進み粘土化部分に認められ、90%程度の粘土  
 割れ目の塊状物はほとんど分布しない。

62.53~62.57m 部分に硬質の塊状に認められ、一部は砂質の塊状  
 粘土化に認められ、粘土化に伴って認められる。

62.82~63.61m 部分に硬質の塊状に認められ、割れ目により  
 厚さ2~10mm程度の粘土質の塊状に認められる。  
 粘土化部分も認められる。

63.61~64.00m: D<sub>2</sub>  
 割れ目による風化が著しく粘土化部分、40~60%程度の粘土  
 質の塊状に認められる。

一部は割れ目による塊状に認められる。  
 63.90~63.94m間は60%程度の石英粒の塊状に認められる。  
 59.00~64.33m: C<sub>2</sub>  
 50~60%と70%割れ目により、硬質の塊状に認められ、90%程度の粘土  
 10%程度の粘土化部分に認められる。

64.33~64.07m: C<sub>M</sub>  
 割れ目により硬質の塊状に認められる。

調査名

孔番・深度

H27 B- / (65 ~ 70)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 65 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
05	65.52		Gp	2.5YR 7/3 R30M 橙	✓ C	✓ IV	✓ B	δ	2	CM ✓	65.22 ~ 65.30 m は 40° ~ 70° 割れ目 が 交差し、幅 10 ~ 20% と 同化砂状部 の 粘土 (20%)、砂 粘土 が 含有し、色 粘土 の 微細な 黄鉄鉱、セリサイト が 伴う。
66	66.07 66.12			2.5YR 6/4 R20M 橙	✗ C	✓ V	✓ C	δ	3	CL ✓	65.90 m、φ20% と 大 型 角 石 英 斑 晶 の 混入。 66.07 ~ 66.62 m : CL 同化 粘土 割れ目 が 密着度 の 低い 割れ目 が 多く、10-20 の 軽微な 細粒化 が 見られる。
05	66.62				✗ C	✓ VI	✓ E	δ			66.62 ~ 67.14 m : D φ20 ~ 20% の 硬質 粘土 と 同化 粘土 砂状部 が 3割、砂 粘土 が 見られる。
	66.85				✗ C	✓ V	✓ E	δ			66.85 m 以下 は 角 粗 粒 が 割れ目 の 一部 に 粘着 あり、粘土 部 が 砂 粘土 及び 淡 黄色 粘土 も 混入 する。
67	67.74 67.27				✗ C	✓ V	✓ E	δ	9	CL ✓	67.14 ~ 67.27 m : CL 50° 割れ目 が 多い 軽微な 混入。 67.27 ~ 67.40 m : CM 割れ目 が 同化 砂状部 が 多い 砂 粘土。
05	67.40				✗ C	✓ IV	✓ B	δ	2	CM ✓	67.40 ~ 67.47 m 10% φ 5 ~ 10% の 20° 角 粗 粒 化 あり
68	67.80 67.93			2.5YR 7/3 R10M 橙	✗ C	✓ V	✓ E	δ	3	DV ✓	67.80 ~ 67.93 m : D 50 ~ 60° 割れ目 が 同化 砂状部、φ10% 硬質 粘土 が 含有 砂 粘土 呈 現 あり
	68.75				✗ C	✓ V	✓ E	δ			67.93 ~ 68.15 m : CL 45° 割れ目 が 同化 砂状部 が 多い 砂 粘土。
05	68.60				✗ B	✓ IV	✓ B	γ	2	CM ✓	68.15 ~ 68.60 m : CM 割れ目 が 粘着 物 が 分布 する 68.43 ~ 68.69 m、φ5 ~ 20% 硬質 粘土 が 同化 砂状部 が 砂 粘土 呈 現 あり 10% 程度 あり。
69	69.05				✗ C	✓ V	✓ E	δ	12	D ✓	68.60 ~ 69.05 : D 同化 粘土 が 同化 砂状部、角 粗 粒 が 割れ目 の 一部 に 粘着 あり、粘土 部 が 砂 粘土 及び 淡 黄色 粘土 も 混入 する。 上 部 の 68.60 ~ 68.65 m は 砂 粘土 呈 現 あり、粘土 が 引 引 断 裂 する こと が 可能 な 程度 あり。
05	69.56			✗ C	✓ V	✓ D	δ			CL ✓	69.05 ~ 69.56 m : CL 30 ~ 50° 割れ目 呈 現。粘着 度 の 低い 中 部 割れ目 が 多く 含有 あり。 割れ目 が 同化 砂状部、粘土 が 同化 砂状部 が 多い 砂 粘土。 69.07 m 厚 2 ~ 3% 程度 の 同化 砂状部 が 分布 あり。
	69.70 69.73			✗ C	✓ V	✓ E	δ	4	D ✓	69.56 ~ 69.70 m : D 少量 の 同化 砂状部 が 分布 あり	
70	70.00			✗ C	✓ V	✓ D	δ	3	CL ✓	69.70 ~ 69.73 m : D 少量 の 同化 砂状部 が 分布 あり 69.70 m : Hc-1 69.70 ~ 69.73 m : 破砕 帯 (主 断 面 69.70 m) 50° 以下 端 部 に 連続 的に 連続。石英 粒、粘土 が 同化 砂状部 が 含有 あり 砂 粘土 (砂 粘土)、色 調 同化 砂状部 (10YR 7/3) 厚 2 ~ 3% あり。	

調査名

孔番・深度 H27 B-1 (70 ~ 75) 観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
				2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ				<p>69.70 ~ 69.73 m: HJ</p> <p>上端30°で、下端57°で、約40°斜めに連続。φ3~10% 硬土E(粘土)、Dの薄片と、薄片間の一部は粘土化砂。</p> <p>2.5YR 7/3 灰褐色。色調は7.5YR(2.5Y 7/2) 厚さ1%。</p> <p>69.73 ~ 70.06 m: CL</p> <p>硬土「D」と硬土「C」の両方が交互に出現する。</p> <p>硬土「D」は割れ目に砂粒の挟持物が分布するが、硬土「C」の両側の挟持物はほとんど分布しない。</p> <p>70.06 ~ 70.09 m: 45°斜めに風化した硬土「C」砂。</p> <p>70.43 ~ 70.47 m: 硬土「C」砂。70.49 ~ 70.59 m: 硬土「C」の白濁化は、長石が多量。70.59 m 以降は砂粒が粗い。</p> <p>70.47 ~ 70.60 m: 45~60° 傾斜 1% 以下の砂粒が白色粘土の膠状に分布する。一部は粘土化砂粒。</p> <p>70.38 ~ 70.40 m: φ10% 前後の大型の石英結晶の存在。薄片状硬土「C」と同じく硬質化(砂)。</p> <p>70.89 m, 0~10° 傾斜 1% 砂粒が密着して連続。</p> <p>72.10 ~ 72.74 m: 硬土「C」の両側は、割れ目挟持物はほとんど分布しない。長石の一部は白濁化砂。</p> <p>72.74 ~ 74.10 m: 硬土「C」の両側は、硬土「C」の薄片を含まない。割れ目に風化、砂粒化砂(砂)あり。</p> <p>72.35 ~ 72.38 m: 厚さ20~30% の緑色砂粒化土層。色調は7.5YR(砂)。</p> <p>72.65 ~ 72.76 m: 30°と60°の割れ目交差部 φ10~50% の砂粒が粗い。</p> <p>74.10 ~ 74.36 m: CM</p> <p>74.26 ~ 74.50 m: 破砕帯(主として断面φ40m)</p> <p>74.36 ~ 74.40 m: Hb</p> <p>上端27°で連続的に、下端30°で傾斜に連続。φ2~3% 石英粒、粘土化砂 φ5% 薄片と約10% 含む砂粒が分布する。色調は7.5YR(砂) (10Y 7/2)。厚さ0~30%。</p> <p>74.40 ~ 74.41 m: Hc-1</p> <p>30°で上端と傾斜して連続。φ1% 石英結晶の存在(5%以下)を含む軟弱粘土(砂)。色調は7.5YR(砂) 厚さ7m。</p>
0.5	70.43			2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ				
7.1	70.27			2.5YR 7/3 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ	10	10		
0.5	72.10		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ D	✓ δ	0	9	CL	
0.5	72.74			2.5YR 7/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ				
7.3	74.10			2.5YR 7/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ	6	6		
0.5	74.36			10YR 7/2 灰褐色	✓ c	✓ VI	✓ E	✓ 4				
0.5	74.41			2.5YR 7/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E	✓ ε	3			
7.5	74.50			2.5YR 7/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E	✓ ε	0	0		

調査名

孔番・深度 H27 B-

(75 ~ 80)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 74 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	05	75.57		2.5YR 6/2 灰褐色	✓ C	✓ V	✓ E		3			74.4 ~ 74.50 m : Hb 上端は30°の溝道に連続, 下端は74.50 m以深の「層割れ時」に30°の溝道に連続。位置不明。 42~3%石英粒, 粘土は42~50%石英片に10~20%含む軟質の「層割れ時」呈す。色調は「灰褐色」(10YR 7/2), 厚さ75%以上
	0	75.71 75.73		75.71 5.5R 5/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E		3		D	74.50 ~ 75.57 m : D 74.50 ~ 75.00 m : 層割れ時「層割れ時」に連続。位置不明。 75.00 ~ 75.57 m : 層割れ時「層割れ時」に連続。位置不明。 75.57 ~ 76.00 m : 層割れ時 (30°の溝道に連続)
	26	75.93 76.00		25.93	✓ x	✓ x	✓ y				Hb	75.57 ~ 75.93 m : HJ 上端は不明瞭(30°)に連続, 下端は60°の溝道に連続, 45~20%石英粒と3%石英片を5~10%含む軟質粘土(0.2%)呈す。色調は「灰褐色」(10YR 7/2), 厚さ70~120% 75.93 ~ 76.00 m : Hc-2
	05	76.91		2.5YR 6/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E		3		D	75.93 ~ 76.93 m : Hc-2 60°に上端は30°に連続, 下端は連続的に連続。4~3%石英粒と3%石英片を5~10%含む軟質粘土(0.2%)呈す。色調は「灰褐色」(5YR 6/2), 厚さ10~12% 76.93 ~ 76.99 m : Hb 上端は30°に連続, 下端は60°の溝道に連続。42~4%石英粒, 45~10%石英片を5~10%含む軟質粘土(0.2%)呈す。色調は「明褐色」(5YR 7/2) ~ 「灰褐色」(5YR 5/2), 厚さ55% 76.99 ~ 76.00 m : HJ 上端は60°の溝道に連続, 下端は不明瞭(30°)に連続。45~10%石英片と3%石英片の粘土(0.2%)呈す。色調は「明褐色」(1.5YR 7/2), 厚さ60%以上
	77	77.19			✓ c	✓ v	✓ c	✓ δ	3		C2	76.00 ~ 76.91 m : D 60°の溝道に連続, 粘土は「層割れ時」に連続。位置不明。 76.91 ~ 76.70 m : 層割れ時「層割れ時」に連続。位置不明。 76.70 ~ 76.91 m : 層割れ時「層割れ時」に連続。位置不明。 76.91 ~ 77.19 m : C2 層割れ時に連続。位置不明。 77.19 ~ 78.00 m : D 層割れ時に連続。位置不明。一部は「層割れ時」に連続。 77.63 ~ 77.80 m : 層割れ時に連続。位置不明。一部は「層割れ時」に連続。
	05	78.43		2.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ D		3		C2	76.00 ~ 78.43 m : C2 60~80°の層割れ時「層割れ時」に連続。位置不明。 層割れ時の厚さ2~3%の石英片に連続。
	05	78.72			✓ c	✓ V	✓ E		3		D	78.43 ~ 78.72 m : D 層割れ時に連続。位置不明。 78.72 ~ 78.87 m : HJ 層割れ時に連続。位置不明。
	79	78.87		10YR 7/2 10%石英	✓ d	✓ VI	✓ E		3		HJ	78.72 ~ 78.87 m : 層割れ時 (30°の溝道に連続)
	05	79.27		2.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ P		3		Hc-1	78.87 ~ 79.27 m : HJ 上端は30°の溝道に連続, 下端は連続的に連続。45%石英粒の層割れ時に連続。位置不明。厚さ1%の軟質粘土(0.2%)呈す。色調は「灰褐色」(10YR 7/2), 厚さ130~140% 79.27 m : Hc-1 60°に上端は連続的に連続。4%石英粒と3%石英片を5%以下含む軟質粘土(0.2%)呈す。色調は「灰褐色」(7.5YR 6/2), 厚さ12%
	05	79.69			✓ c	✓ V	✓ C		3		CL	79.27 ~ 79.69 m : CL 79.69 ~ 79.27 m : 層割れ時「層割れ時」に連続。位置不明。厚さ1%の軟質粘土(0.2%)呈す。 79.27 ~ 79.69 m : 層割れ時「層割れ時」に連続。位置不明。厚さ1%の軟質粘土(0.2%)呈す。 79.69 ~ 79.93 m : 層割れ時に連続。位置不明。厚さ1%の軟質粘土(0.2%)呈す。
	80	79.93		2.5YR 5/2 10%石英	✓ c	✓ V	✓ C		3		CL	79.69 ~ 79.93 m : CL 上端は不明瞭(30°)に連続, 下端は不明瞭(30°)に連続。位置不明。厚さ1%の軟質粘土(0.2%)呈す。

78  
↑  
69~76  
↓  
76.01



調査名

孔番・深度

H27B-1 (80 ~ 85)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 p0 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	05	80.66			✓ ○	✓ IV	✓ C	✓ Y	✓ ○	6		<p>77.96 ~ 80.23 m 45°前後の割れ目が多い。 この割れ目は 粘板状の付着物で厚さ 0.5 ~ 3% 程度である。</p> <p>80.30 ~ 80.40 m 割れ目に沿って砂状化が進む。 80.30 ~ 80.35 m は 0.2 ~ 0.3 m 程度の塊状に発達した角礫状コア。</p> <p>80.66 ~ 81.07 m 硬さ D 中の 硬さ C の 0.2 ~ 0.3 m 前後の断片が分布 80 前後の高角度割れ目が多い。</p> <p>81.17 ~ 81.55 m 割れ目の厚さ 10 ~ 15% の砂と粘板状の付着物 塊状物中に割れ目周辺に 0.5% 以下の微細な黄鉄鉱を伴う。</p> <p>81.82 ~ 81.87 m 16° 傾いた砂状化の付着物。</p> <p>81.87 ~ 82.51 m 割れ目に沿って付着物の分布がある。</p> <p>82.51 ~ 82.62 m : D ARC 砂状化付着物。0.5 ~ 1 cm の Gp 断片の分布がある。</p> <p>82.62 ~ 82.94 m : C<sub>L</sub> 割れ目に沿って砂状化が進む。一部は幅 1 ~ 2% の粘板状の付着物。</p> <p>82.94 ~ 84.09 m : C<sub>M</sub> 粘板状の付着物の厚さの低い割れ目と多く含まれている。 割れ目の付着物は少ない。</p> <p>83.30 ~ 83.47 m 断面の一部が白濁している。</p> <p>84.09 ~ 84.09 m 2部 45° 下部 65° 割れ目 2 部あり。砂状化の付着物がある。厚さ 1 ~ 10% の厚さ 3% 以下の浸透性粘板状の付着物と 2部 粘板状の付着物。</p> <p>84.09 ~ 84.92 m : C<sub>H</sub> 10 ~ 20° の高角度の「粘板状の付着物」を伴った「粘板状の付着物」の付着物の付着がある。</p> <p>84.50 m 36° 割れ目の厚さ 2 ~ 3% の付着物がある。</p> <p>84.82 ~ 84.92 m 割れ目周辺の一部は付着物。粘板状の付着物の付着物と粘板状の付着物がある。</p> <p>84.92 ~ 85.38 m : C<sub>L</sub></p>
	05	81.07			✓ C	✓ V	✓ D	✓ δ	✓ ○	5		
	05	81.87			✓ C	✓ V	✓ C	✓ δ	✓ ○	5		
	05	82.51 82.62	Gp		✓ d	✓ V	✓ E	✓ E	✓ ○	6		
	05	82.94			✓ C	✓ V	✓ C	✓ δ	✓ ○	6		
	05	83.47			✓ b	✓ IV	✓ B	✓ Y	✓ ○	10		
	05	84.09			✓ b	✓ IV	✓ B	✓ Y	✓ ○	10		
	05	84.92			✓ b	✓ IV	✓ B	✓ Y	✓ ○	16		
	05	85.00			✓ b	✓ IV	✓ C	✓ Y	✓ ○	16		

7808  
↑  
3570

84.07  
↑  
3570

調査名

孔番・深度

H273-1 (85 ~ 90)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 85 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
85	85.00		Gp	2.5YR 5/4 灰褐	✓	IV	C						<p>下層破砕帯の主な断面と同方向の 40~60° 割れ目や中層割れ目あり。 85.01' 幅 1.4m 以下 20° 石炭脈あり 50 割れ目と 斜交して連続。</p> <p>85.38 ~ 85.41 m 破砕帯 (主な断面 85.41 m) 85.38 ~ 85.41 m : H<sub>2</sub> 上層 45~50° 1.1m 厚の砂岩。これより近縁的。下層は 47° 近縁的に連続。中 2~3m 石英粒と中 3~5m 粘土とを伴った砂岩。粘土は 10YR 7/2 程度。砂岩の厚さ 20~25cm。色調は 10YR 7/2 程度。砂岩の厚さ 20~25cm。上層の割れ目は 20° 程度で 斜交して連続している。</p> <p>85.41 m : H<sub>2</sub>-1 47° 上下端に 連続的に 連続。1.1m 石英粒と 10YR 7/2 (5% 以下) 含む 砂岩。色調は 10YR 7/2。厚さ 2.7m。</p> <p>85.41 ~ 85.42 m : C<sub>L</sub> 上層破砕帯の主な断面と同方向の 40~60° 割れ目あり。砂岩と 石灰岩。</p> <p>85.42 ~ 86.43 m : D 割れ目は 27° 程度。径 10~20cm 程度。砂岩と 石灰岩の 破砕性状を呈す。</p> <p>86.43 ~ 86.46 m : C<sub>M</sub> 経緯 20°。割れ目あり。塊状の石灰岩の分布あり。</p> <p>86.46 ~ 87.20 m : C<sub>L</sub> 40~60° 割れ目と 斜交して 斜交して 連続している。 砂岩の 径 10cm 程度。砂岩と 石灰岩に 連続している。</p> <p>87.20 ~ 87.51 m : D 風化 砂岩。砂岩と 石灰岩とを 伴った。幅 1~3m 程度。粘土と 砂岩とを 伴った。</p> <p>87.51 ~ 88.53 m : C<sub>L</sub> 割れ目は 風化 砂岩の 径 10cm 程度。砂岩と 石灰岩とを 伴った。径 10cm 程度。</p>
	85.20			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						
	85.38				2.5YR 5/4 灰褐	✓	IV	C					
	85.41				10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C					
86	85.92			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						
	86.43			2.5YR 5/4 灰褐	✓	IV	C						
87	86.46			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						
	87.20			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						
88	87.51			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						
	88.53			2.5YR 5/4 灰褐	✓	IV	C						
89	89.25			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C					<p>88.51 ~ 88.69 m. 40~50° 割れ目 1~2cm (1) 程度で 平行に 分布。径 10cm 程度。砂岩と 石灰岩とを 伴った。</p> <p>89.25 ~ 89.56 m. 2.5YR 5/4. 割れ目 1~2cm (1) 程度。</p> <p>89.56 ~ 89.66 m. 割れ目 10~15cm 程度。全体 径 10cm (1) 程度。</p>	
	89.56			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						
	89.66			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						
90	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	IV	C						

89.25  
89.27  
↑

標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<h3>基盤岩コア観察カード</h3> <p>記事・破砕性状・詳細スケッチ等</p>
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
90													
91	91.00			2.5YR 7/2 灰緑	✓	✓	✓	δ	3	0.7			91.16~91.25m、傾角65°割れ目による変質、径10%程度の細粒状に碎けたもの。下部に20%程度集積。
92	92.00		GpV		✓	✓	✓	δ	3	0.6			92.32m、50°割れ目によるφ0.5mm前後の雲母(セリサイト?)の剥出し。
93	93.00			2.5YR 7/2 明緑灰						0.4			
94	94.00 94.07		65°	2.5YR 7/2 暗緑灰	X	X	✓	E	E	0.5			93.53~94.02m : D 割れ目による変質が拡大(一部は砕けた)に至る。
95	94.07 94.88		65°	2.5YR 7/2 暗緑灰	X	X	✓	E	E	0.5			94.00~95.05m : CL 94.07~94.88m : 上下端65°の貫入割れ目。上下端は割れ目(石炭層や変質粘土層等)の貫入面(65°)に60°傾斜した変質割れ目や変質粘土層(20%程度)の剥出し。中にはφ0.5mm程度の雲母(セリサイト?)の剥出し(一部は流理構造(65~60°)を成す)。上述と直下のGpに磁石で変質は認められる。
95	95.00		GD	2.5YR 7/2 暗緑灰						0.6			

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (95 ~ 100)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
05	95.22			2.5YR 7/2 明揚灰	✓	✓	✓	0	3		C2✓	<p>95.22 ~ 95.25m 割れ目に砂粒あり、スカルン付着。</p> <p>95.30 ~ 95.45m 粘土質</p>	
	95.85				X					0	B	<p>95.85 ~ 96.58m CM</p> <p>硬質の塊状、緻密度の低い割れ目あり、一部で細粒化あり。</p>	
96	96.10					✓	✓				CM✓	<p>96.00 ~ 96.10m 割れ目に砂粒あり、圧縮時粘土質。</p>	
05	96.58		Gp	2.5YR 5/2 灰揚	X							<p>96.58 ~ 97.57m C2</p> <p>一部に硬質の塊状、一部に粘土質。</p> <p>φ 2-3mm 粘土質の砂粒(粘土質?)の晶出一点あり。</p>	
97					C	✓	✓			10	10	C2✓	<p>97.00 ~ 97.12m 割れ目に砂粒あり、全体に粘土質。</p>
05	97.57			2.5YR 7/3 灰揚	X	X						D✓	<p>97.57 ~ 97.85m D</p> <p>硬質の塊状、粘土質の全体に粘土質。</p> <p>下部付近に97.85mに40μm ~ 5μm 粘土質の砂粒あり。</p>
	97.85				X								<p>97.85 ~ 100.57m CM</p> <p>硬質の塊状、変質が弱。</p> <p>緻密度の低い割れ目や粘土質の塊状あり、10cm以上。</p> <p>粘土質の塊状あり。</p> <p>割れ目粘土質の塊状あり。</p> <p>粘</p>
98	97.88			2.5YR 7/2 灰揚		✓	✓					CM✓	
05					C	✓	✓						
99										20	13		<p>99.03m 35割れ目に微細な粘土質の晶出(2-3)。</p>
05	99.57			2.5YR 6/1 灰揚									
100										12	12		

100.51m 粘

100.51m 粘



調査名

孔番・深度

H27 B-1 (105 ~ 110)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 0.5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05												
106										23	13	
			Gp ✓	254R 灰褐	✓ b	✓ III	✓ B	✓ γ	✓ 2			CH ✓
05												
107										26	14	
	107.40				X		X					
05												
	107.83				b	✓ IV	B					CM ✓
108										22	11	
	108.24				c	✓	δ	✓	3			C2 ✓
05												
	108.98											
109												
					✓ b	✓ IV	✓ B	✓ γ	✓ 2	0	9	CM ✓
05												
110	109.98											
				254R 褐灰	X		X			0	9	

・105.23 ~ 105.25m: 65° 割れ目幅 10 ~ 3% の 緑色粘土層  
122cm. 破碎は9割程度あり。

・106.33m: 60° 割れ目幅 5% の 細粒化砂。  
粘土は9割程度あり。

107.40 ~ 107.83m: CM  
107.52 ~ 107.55m: 幅 40° 55° 割れ目に 固粒 粗粒化砂  
砂化砂。粘土は9割程度あり。

107.83 ~ 108.24m: C2  
風化砂 割れ目幅に 軟化砂 存在。  
108.20m: 50° 割れ目幅の 割れ目は 20% 粘土層あり

108.24 ~ 109.98m: CM  
硬質砂の 中層割れ目中 粘層の 低割れ目幅  
10% 以下 可細粒化砂。  
割れ目には 塊状物 10 粒程度 分布 (砂)。

・109.00 ~ 109.14m と 109.41 ~ 109.60m 167cm 割れ目 5°  
粘層。長 10 ~ 30% 程度の 硬質砂層 (20%)。

b III B γ 2 CH ✓

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD	
0.5	110.43		Gp	2.5YR 5/1 褐灰	b	III	B				33	20	CH	<p>110.38~110.43m: CH 片割れ目や亀裂の低い割れ目を含む。棒状の片あり。</p> <p>110.43~110.74m: CL 片割れ目あり。割れ目の一部で砂状化あり。</p>
	110.68 110.74			HR 6/2 灰褐	c	V	C							
0.5	111.73		Gp	2.5GY 4/1 暗緑灰	b	IV	B						CM	<p>110.74~110.93m: CM 30~60°の傾斜に連続する50~70°割れ目の連続。割れ目交差部の一部は砂状化あり。劣化は伴わない。 (110.93m以下は)</p> <p>110.93~111.13m: CM 堅硬で割れ目狭小物は殆ど分布しない。</p> <p>111.13~111.37m: CM 111.13~111.37mは暗緑色化、111.37~111.54mは比較的褐色に割れ目方向に割れ目あり。50~60°を示す。前者は緑泥石化の進んだ傾向、後者は石英石が多く晶粒粗大傾向あり。</p> <p>両色調境界部はよく露骨。破砕中主質は伴わない。</p>
	111.54			5YR 6/2 灰褐	b	IV	B							
0.5	112.00 112.04		Gp	5YR 6/3 灰褐	b	IV	C				20	10	CL	<p>112.04mは薄く砂状化し、一部の割れ目は片割れ目による砂状化あり。粘土化が顕著に分布する。全体は多少の砂状化を呈し、割れ目面には暗黒褐色化あり。</p>
	112.83			2.5YR 7/2 明褐灰	c	V	D							
0.5	113.31		Gp	2.5YR 6/2 灰褐	d	VI	E						D	<p>112.83~113.51m: CL 割れ目による砂状化の進んだ傾向あり。</p> <p>113.03~113.31m: 消滅 (CL)。消滅100%の傾向に分布する。</p> <p>113.10~113.13m: 57.4%の割合で砂状化し、暗褐色化あり。</p>
	113.51 113.55 113.60			2.5YR 6/2 灰褐	d	VI	E							
0.5	114.00		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	c	V	C				90	4	CL	<p>113.51~113.60m: HJ 113.51~113.56m: HJ 上部50%で、下部60%で、砂状化の連続。50~100%の割合で砂状化し、割れ目方向に砂状化し、粘土化が顕著に分布する。色調は褐色化 (2.5YR 6/2)。厚さ20~25cm。</p> <p>113.56m/HJ-1 56%の連続する砂状化の連続。途中は厚さ1%の粘土化が分布する。色調は褐色化 (2.5YR 6/2)。厚さ1~2cm。</p> <p>113.56~113.60m: HJ 上部50%は粘土化、下部60%は砂状化の連続。50~100%の割合で砂状化し、割れ目方向に砂状化し、粘土化が顕著に分布する。色調は褐色化 (2.5YR 6/2)。厚さ1~2cm。</p> <p>113.60~114.00m: D 上部50%は粘土化、下部60%は砂状化の連続。50~100%の割合で砂状化し、割れ目方向に砂状化し、粘土化が顕著に分布する。色調は褐色化 (2.5YR 6/2)。厚さ1~2cm。</p>
	114.73				d	VI	E							
115					d	VI	E						D	<p>114.00~114.73m: CL 高角に傾斜した割れ目あり。傾斜30%以下に砂状化。割れ目の一部は砂状化による砂状化あり。</p> <p>114.73~115.52m: D 風化が顕著に砂状化し、砂状化は呈する。</p>

調査名		孔番・深度		観察日									
		H27 B-1 (115 ~ 120)											
標尺 115 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
	05	115.52			d	VI	E	ε	3				*115.28 m 以深では 割れ目の一部が残留している。  115.52 ~ 118.26 : CL 60~70°の高角割れ目と30前後の低角層割れ目の交差する割れ目の多い砂状化部と粘土は分布している。
116	05	116.87	2.5YR 7/2 明褐灰		c	✓	C		2				
	05	116.87			x	x							116.87 ~ 118.26 m : 割れ目と砂状化の連続している。層厚は10~30cm程度で連続。 116.87 ~ 117.00 m は10%程度の砂状化部。砂状化部は割れ目と砂状化部の連続した部分の連続している。 割れ目は60~70°と30°の連続した40°前後の部、交差部は15%程度の細粒化部も存在。 60~70°割れ目は40°割れ目と連続した部分が多い。
117	05	117.23	2.5YR 8/3 灰褐色		c	✓	D	δ	3				
	05	118.28	2.5YR 8/4 灰褐色		x	x							118.10 ~ 118.63 m : 割れ目の一部は連続した部分の連続している。  118.26 m 以深では 上層より更に割れ目の砂状化が連続している。 一部は15~20%の細粒化部も存在。
118	05	118.63			x	x							
	05	118.80			c	✓	EV						118.63 ~ 118.94 m : D 砂状化の割合は割れ目の連続した部分の連続している。割れ目の連続した部分の連続している。
119	05	118.94	10YR 5/4 灰褐色		x	x							
	05	119.10			c	✓	E		4				●118.94 ~ 119.12 m : 3層帯 (主断面119.10 m) 118.94 ~ 119.10 m : HJ 上層2層は下層60°の砂状化の連続。主断面で平均して割れ目と30°前後の低角層割れ目の割合は5~10%程度の細粒化した層厚と層厚100%の砂状化部と砂状化部が連続している。色調は10YR 5/4 (厚2.60 m (10層))。 119.10 ~ 119.12 m : Hc-2 60°上層と下層の連続。下層は層厚で連続した15%の石英、10~10%程度の細粒化部と10~20%の石英の連続した部分。色調は浅黄(10層)、厚1.3~1.5 m。 粘土中には、表面が20%程度の1%の石英の連続した部分。下層~上層へ砂状化部は2%の砂状化部と連続した部分。
119	05	119.12	2.5YR 7/2 灰褐色		b	✓	C		3				
	05	119.30			b	✓	B	γ	2				119.12 ~ 119.30 m : CL 60~70°の高角層割れ目と30°前後の低角層割れ目の連続した部分の連続している。
120	05	120.00			b	✓	Y		2				



調査名

孔番・深度

427 B-1 (120 ~ 125)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
											119.30~120.78 m: CM 一部で割れ目の低い割れ目の中層割れ目が多く、ハズレの割れ目で合流、細粒化が認められる。割れ目の面は新鮮で平風化。
	0.5				b	IV	B			CMV	
		120.78			X	X					120.78 ~ 122.00 m: CH 130~140"間で中層割れ目1割10%の間隔で分布。
	121							25	15		
	0.5				b	III	B			CHV	
	122	122.00	Gp	25R 1/2 平風化	X	X	B	34	24		122.00 ~ 125.06 m: CM 一部で割れ目の低い割れ目の中層割れ目が多い。割れ目の面は新鮮で平風化。
	0.5										
	123				b	IV	B	0	5	CMV	123.38 m 割れ目定数部で幅2~3% 平風化が認められる。同化部大部分が粘土化部は付着する。
	0.5										
	124	124.16						10	8		
	0.5			25R 1/2 平風化							124.54 m 50割れ目の厚さ1% 平風化は緑色粘土が平風化に付着する
	125							0	6		

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (125 ~ /30)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	125.00									CMV	
	125.28				b <sub>1</sub>	IV	B			CLV	
126	127.16		GP	25YR 6/1 陽灰			B	β	2	0	8
	127.68				b <sub>1</sub>	IV	B			10	10
	128.08			25YR 5/3 15%陽灰			B	δ		0	9
	128.55				b <sub>1</sub>	IV	B	γ	2		
	128.64			10YR 6/2 灰黄濁			B	δ	2		
	128.88				b <sub>1</sub>	IV	B	δ	2		
129	129.60			25YR 6/1 陽灰			B	γ	2	0	8
	129.91				b <sub>1</sub>	IV	B	γ	2		
130							B	2	11	11	

125.06 ~ 125.28 m : CL  
割れ目はほぼ3分岐・細粒化(200)。この粘土は125.28 m。

125.28 ~ 127.68 m : CM  
開口割れ目と平行方向の割れ目も密着度の低い割れ目と含まれる。127.16 m付近の一部は高品位・細粒化可。

この一部(下記127.16 ~ 127.25 m 167)は200μm以下の粘土はほぼ新鮮・細粒化。

127.16 ~ 127.25 m 167は100μm前後の角礫化(200)。下部の450割れ目面は100μm前後の角礫化可。

127.68 ~ 128.08 m : CL  
厚さ5~10%程度の片状の片状で塊状物は下部の128.05 ~ 128.08 mの3~5%程度角礫化(含む「碎質砂」)は認められず。この粘土はほぼ新鮮・細粒化可。

128.08 ~ 128.64 m : CM  
割れ目面は薄く浸透化。区上は角礫化可。この粘土は塊状物は認められず。

128.64 ~ 128.88 m : CL  
100μm前後の角礫化(200)は角礫化可。区上は角礫化可。この粘土はほぼ新鮮・細粒化可。

128.88 ~ 129.91 m : CM  
60~70°の角礫化。30~40°の低角度割れ目の交差部には10%前後の片状~角礫化可。この粘土はほぼ新鮮・細粒化可。

129.91 ~ 131.93 m : CL

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (130 ~ 135)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 130 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
	05												
131			Gp	XFR β 褐灰	β	III	B		26	16	CHV		<p>一部のコアは 割れ目・表割れ目と含有。ハンマーの打撃 表面、割れ目・細片状 (さしもの多し)。</p>
	05												
	131.93												
132					X	X	β	2	53	28			<p>131.40 ~ 131.52 m 間は 40 ~ 30% の角砕化 (L200) であり 割れ目・細片状 (さしもの多し) あり。粗粒状 (さしもの多し)。</p> <p>131.93 ~ 132.07 : CM          131.93 ~ 132.07 m 間は 割れ目・表割れ目と含有。既に割れ目・細片状 (さしもの多し)。          割れ目の一部は 風化・表割れ目と含有。132.07 ~ 132.08 m 間は、採集物 (さしもの) 割れ目・細片状。</p> <p>132.07 ~ 132.24 m 間は 10 ~ 20% の角砕化 (L200) あり。割れ目・表割れ目・細片状 (さしもの多し)。微細な黄鉄鉱も存在。同様に採集物あり。</p>
	05												
133													
	05												
	133												
	05												
134													
	05												
	134												
	05												
135													
	05												
	135												
	05												

調査名

孔番・深度 H27 B-1 (135~140) 観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	0.5											
136										0	b	
	0.5					b	IV	B	B			CM
137			Gp	2.5YR 6/1 褐灰						11	11	
	0.5											
138	138.07									0	b	
	138.44											CM
	0.5											
	138.80											CH
139	139.18									23	12	
	0.5											
	139.82											CL
	139.88											
	139.95											
140												

135.80~136.00m 中割目多し。全10-30%程度に細砕化(20%)

137.00~138.07m 中割目多し。密度は高く、1/2-1/3程度に分離し。割目割目多し。2-3% 暗緑色の緑泥石の斑点状に点在する

138.07~138.44m: CL  
密度が低い中割目多し。全体的に2割C)で。岩石の風化や割目状物は殆んど認められず。2-3% 暗緑色の緑泥石の斑点多し。

138.44~138.80m: CH  
堅硬塊状。中割目多し。密度は高く、1/2-1/3程度に分離し。

138.80~139.18m: CL  
139.18m 以降は塊状C)で、以降は軟化。造り「D」で。全体的に割目状物は殆んど認められず。

138.95: 60-70°傾斜、10%で湾曲(20%右葉派)。密着一部割目状化して連続。

138.95~139.08m 30-40°傾斜。割目状。変質。割目状。変質。割目状。変質。割目状。変質。

139.18m 以降は塊状。傾斜比は急峻。造り「D」で。139.31m 割目状。厚2-3% 20% 鉄屑多し。

139.82~139.88m 破砕帯 (全断断面 139.82m)  
139.88m: HC-1

H27  
138  
5  
141

調査名		孔番・深度		H27 B-1 (140 ~ 144)		観察日						
標尺 140 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
140	140.03		Gp	25YR 1/2 褐灰	✓c	✓v	✓cv	✓r	✓s	✓10	✓10	52°で直線的に連続。肉眼では石英粒、岩片が含まれる 平均粘土(0.7%)。色調は暗緑灰色(5Y 3/1)~灰褐色(7.5YR 5/1) 厚さ0.5~1mm 139.82~139.88m: HJ 52°以下端部直線的に連続。中3~5μmの細小 岩片化。岩片10μmの粗粒化(粗粒化主体)。岩片の多くは 主として面方向に配列している。全体の「砂混り岩片状」 に呈す。色調は暗緑灰色(10Y 3/1)。厚さ90μm 139.88~139.95m: D 主に粘土と岩片に由来する。岩片は10μm程度 139.95~140.03m: Cc 25YR 7/2 岩片主体。 140.03~141.27m: CM 粗粒の砂に由来する。コア長10cm以下の短棒状コア主体 割れ目状に分布する。 141.27~142.31m: C4 中層割れ目密度が低くなる。割れ目が多い。 141.55m以下は割れ目から水起因の砂と暗緑灰色 粘土と粘土物が多く含まれる。 141.55m以下は粘土物の割合が割れ目が多い。
	05	141.27			✓c	✓v	✓D					
141	141.55		Gp	25YR 7/2 明褐灰	✓c	✓v	✓D			✓0	✓5	142.31~144.00m: CM 岩片は25~50μm(25~50μm)。 143.36~143.93mは割れ目から暗緑灰色と粘土 粘土の砂と粘土と25~50μmは粘土割れ目が多い。 143.93m以下は割れ目周辺の暗緑灰色帯あり。 (21頁)
	05	142.31			x		Y	2				
142	142.31		Gp	25YR 5/2 灰褐	✓c	✓v	✓B			✓0	✓b	143.36~143.93mは割れ目から暗緑灰色と粘土 粘土の砂と粘土と25~50μmは粘土割れ目が多い。 143.93m以下は割れ目周辺の暗緑灰色帯あり。 (21頁)
	05	143.36			x	x						
143	143.36		Gp	25YR 5/2 灰褐	✓c	✓v	✓B			✓0	✓b	143.36~143.93mは割れ目から暗緑灰色と粘土 粘土の砂と粘土と25~50μmは粘土割れ目が多い。 143.93m以下は割れ目周辺の暗緑灰色帯あり。 (21頁)
	05	144.00			✓c	✓v	✓B					
144	144.00		Gp	25YR 5/2 灰褐	✓c	✓v	✓B			✓0	✓b	143.36~143.93mは割れ目から暗緑灰色と粘土 粘土の砂と粘土と25~50μmは粘土割れ目が多い。 143.93m以下は割れ目周辺の暗緑灰色帯あり。 (21頁)
	05				✓c	✓v	✓B					

余白

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27B-2	観察日		
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
0			マーカー 火山灰物 山質燻化石 火炭土貝木片	コンクリート		
0.70m				盛土	粗粒	1.00 ~ 2.00m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は良し
1.00m				盛土	粗粒	2.00 ~ 3.40m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は普通 ・10 ~ 50mmの礫を複数含む
2.00m				盛土	粗粒	3.40 ~ 4.00m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は良し
3.00m						
3.40						
4.00m						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		H27 B-2				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
4.00	4.10			盛土	10YR 6/4 にじみ 黄橙	
5.00				盛土		
6.00				盛土		
7.00	7.00				7.5YR 5/4 にじみ 褐	
8.00						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 ---- 亀裂は赤線, 角度, 条線等



# 第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		H27 B-2				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界 スケッチ	マーカ 灰物 山 炭 土 貝 化石 片 ○ r /// 0 □	地質名	色調	堆積構造・特徴等
8.00		[Sketch: small circles]		ヌ	7.5YR 5/4	
	8.50				10.5YR 6/1 灰褐	
9.00	9.00	[Sketch: small circles]		チ	7.5YR 4/1 褐灰	
10.00		[Sketch: small circles]		盛土	10YR 7/6 明黄褐	
	10.50					
11.00	11.00	[Sketch: small circles]			10YR 6/6 明黄褐	
	11.50	[Sketch: small circles]			10YR 9/8 明黄褐	
12.00	12.00	[Sketch: small circles]				

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等